

自己点検・評価報告書
(対象年度：平成21年度～令和5年度)

令和7年1月
福井大学総合情報基盤センター

平成21年度～令和5年度
総合情報基盤センターにおける自己点検・自己評価報告書

総合情報基盤センター
センター長 浪花 智英

この度、平成21年度～令和5年度（自己点検・評価対象期間）において、総合情報基盤センター（以下「センター」という。）の活動に対する自己点検・評価を実施した。評価実施体制、自己点検・評価結果は以下の通りである。

【評価実施体制】

総合情報基盤センターの自己点検・評価は経営企画部情報企画課と密接な連携のもと、「福井大学部局等自己点検・評価及び外部評価実施要項（令和3年1月27日 学長裁定）」（以下「実施要項」という。）に基づき、今回の自己点検・評価を実施した。センターは年度ごとに活動状況を総合情報基盤センター運営委員会へ報告しており、これに基づき、自己点検・評価を総合情報基盤センター運営委員会で作成した。

【評価方法】

自己点検・評価は、実施要項に規定された各基準について、関連する根拠資料等に基づき自己点検を実施し、次の4段階で評価した。

- S：非常に優れている
- A：適切である
- B：おおむね標準的である
- C：改善が必要である

【自己点検・評価スケジュール】

自己点検・評価は、総合情報基盤センター運営委員会で令和6年7月から令和7年1月にわたり実施され、承認された。

【自己点検・評価結果一覧】

基準ごとの自己点検・評価結果は次のとおりである。詳細は、「Ⅱ 基準ごとの自己評価」に記載している。

基準	評価
基準1 センター等の設置目的等	
1-1 設置目的が明確に定められており、その内容が本学の目的等に適合するものであること。	A
1-2 設置目的が、本学構成員に周知されているとともに、地域・社会に公表されていること。	A
1-3 設置目的、活動が、中期目標・計画を含め本学の短期・中期の目標等の達成に資するものであること。	A
基準2 センター等の組織	
2-1 設置目的を達成する上で必要な組織構成・実施体制が適切に整備され、機能していること。	A
2-2 設置目的を達成する上で必要な構成員が適切に配置されていること。	B
基準3 活動状況と成果・効果	
3-1 設置目的に沿った活動が、充分に行われていること。	S
3-2 設置目的の達成に資する成果・効果があがっていること。	A
3-3 本学の目的等の達成に資する成果・効果があがっていること。	A
3-4 本学の中期目標・計画を含め本学の短期・中期の目標等の達成に資する成果・効果があがっていること。	A
3-5 活動状況及びその成果・効果が、学内及び地域・社会に対して公表されていること。	A
基準4 学生・研究者等の受入れ、支援等（該当する場合）	
4-1 設置目的に沿って、学生・研究者等を適切に受入れていること。	該当なし
4-2 設置目的に沿った履修指導・研究指導を含め支援等が適切に実施され、成果・効果があがっていること。	該当なし
基準5 施設・設備	
5-1 活動する上で必要な施設・設備が適切に整備されていること。	B
5-2 活動する上で必要な施設・設備が有効に活用されていること。	S
基準6 財務	
6-1 設置目的に沿った活動を適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有していること。	B
6-2 設置目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画が策定され、適切に履行されていること。	S
基準7 管理運営	
7-1 管理運営に関する方針が明確に定められ、それらに基づき適切な規定等が整備されていること。	A
7-2 設置目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。	A
基準8 内部質保証	
8-1 活動の状況やその成果・効果について、自己点検・評価を行い、その結果を改善につなぐ適切な体制（内部質保証体制）が整備されていること。	A

8-2 内部質保証体制が有効に機能していること。	A
8-3 全学テーマ別自己点検・評価に係る点検・評価項目*の基準等が満たされていること。 (該当する場合) ・教育研究活動を展開する上で、教職員及び学生が授業内外においてインターネットに接続できる環境があるなど、必要な ICT 環境を整備していること。 ・ICT 環境の整備充実に向けた取組に加え、これらを維持・管理するためのメンテナンスやセキュリティ管理を行っていること。	S

目次

- I 総合情報基盤センターの現況及び特徴
- II 基準ごとの自己評価
- III 事業内容

I 総合情報基盤センターの現況及び特徴

総合情報基盤センターは2009年の改称により、旧の総合情報処理センターからその機能を大きく変化させることになりました。現在の主な役割は、学内に計算機資源を提供するというよりも、ネットワーク環境の維持、演習室を中心としたユーザへの計算機利用環境の提供、セキュリティ問題に対する対応並びにユーザの啓蒙・教育活動に大きく変化しております。

こうした役割の変化から、総合情報基盤センターの働きは縁の下の力持ち的な位置づけに移り変わり、学内へのサービス提供が主たる任務と思われるのではないかと感じております。

しかしながら、総合情報基盤センターの本務は大学機能の一部を専門して担うものであり、その役割は教育・研究の遂行にあります。その中には、ユーザ教育として、学生の教育のみならず、大学の構成員に対する教育も含まれているものと考えます。

旧来は、工学部の技官の方々は、その当時からお年を召した方が多かったのですが、非常に厳しい指導方針を取られており、簡単・単純な質問をしようものならけんもほろろな対応どころか叱責を受けることもあたりまえで、良い環境とは言えませんでした。

総合情報基盤センターも学内に導入された計算機及びネットワークシステムに関する最新の知識を有する唯一の機関として、内外から頼られるスキルを維持するとともに、その能力を持ってして、親しまれながらも畏れられる存在としてあるように、努めていくところです。

1 現況（令和5年度）

部局名：福井大学総合情報基盤センター

所在地：福井県福井市文京3丁目9番1号

専任教員数：准教授1名

兼任教員数：教授5名、准教授1名（教育・人文社会系部門、医学系部門、工学系部門）

専任職員数：事務補佐員4名（派遣会社職員2名を含む）

◎構成員

役職	氏名	所属	職名
センター長（併）	浪花 智英	工学系部門知能システム工学講座	教授
副センター長（併）	塚本 充	教育・人文社会系部門生活科学教育講座 情報技術	教授
副センター長（併）	山内 高弘	病態制御医学講座 内科学（1）	教授
専任教員	大垣内 多徳	総合情報基盤センター	准教授
兼任教員	塚本 充	教育・人文社会系部門生活科学教育講座 情報技術	教授
兼任教員	井上 博行	教育・人文社会系部門総合グローバル領域	教授
兼任教員	山内 高弘	病態制御医学講座 内科学（1）	教授
兼任教員	深澤 有吾	形態機能医科学講座脳形態機能学	教授
兼任教員	山下 芳範	医学系部門医療情報部	准教授
兼任教員	玉井 良則	工学系部門物理工学分野	教授
兼任教員	樋口 健	データ科学・A I 教育研究センター	教授
事務補佐員	朴 珠賢		
事務補佐員	荒井 まり子		
事務補佐員（派遣）	福野 みどり		
事務補佐員（派遣）	中村 春香		

◎情報企画課（所掌課）

課長	吉野 孝博
情報基盤（文京）担当 主査	高山 俊一
情報基盤（松岡）担当 主査	飯田 一弘

情報基盤（松岡）担当 主査	井上 忠彦
情報基盤（文京）担当 主任	木下 拓哉
情報基盤（文京）担当 技術職員	吉川 雄也

◎総合情報基盤センター運営委員会

委員	氏名	所属	備考
センター長	浪花 智英	総合情報基盤センター/工学系部門 知能システム工学講座	委員長
副センター長	塚本 充	総合情報基盤センター/教育・人文社会系部門 生活科学教育講座 情報技術	兼任教員
副センター長	山内 高弘	総合情報基盤センター/医学系部門 病態制御医学講座 内科学（1）	兼任教員
センターの専任教員	大垣内 多徳	総合情報基盤センター	
各部門選出の教員1名	橋本 康弘	教育・人文社会系部門 社会系教育講座 社会科教育	
各部門選出の教員1名	山内 高弘	総合情報基盤センター/医学系部門 病態制御医学講座 内科学（1）	兼任教員
各部門選出の教員1名	廣瀬 勝一	工学系部門 電気・電子工学講座	
その他委員会が必要と認めた者	井上 博行	教育・人文社会系部門 総合グローバル領域	兼任教員
その他委員会が必要と認めた者	清水 康弘	医学系部門 医療情報部	
その他委員会が必要と認めた者	嶋 雅代	医学系部門 看護学講座 育成期看護学	
その他委員会が必要と認めた者	今村 好章	医学系部門 病理部	
その他委員会が必要と認めた者	深澤 有吾	医学系部門 形態機能医科学講座 脳形態機能学	兼任教員
その他委員会が必要と認めた者	山下 芳範	医学系部門 療情報部	兼任教員
その他委員会が必要と認めた者	樋口 健	工学系部門 データ科学・AI 教育研究センター	兼任教員
その他委員会が必要と認めた者	玉井 良則	工学系部門 物理工学講座	兼任教員
その他委員会が必要と認めた者	浦崎 芳正	基盤部門 保健管理センター	

◎令和5年度決算及び令和6年度予算

総合情報基盤センター 令和5年度決算

（総合情報共通：収入の部）

項目	予算(A)	決算(B)	比較増減(B)-(A)	備考
特定事項経費	200,211,000	200,211,000	0	
特定事項経費（システム）	34,351,000	34,351,000	0	
電気代支援費				

	基本料金分	1,528,000	1,528,000	0	
	高騰支援分	3,303,000	3,303,000	0	
	高騰支援分（実績 差額引上）	0	△ 1,114,985	△ 1,114,985	
共同利用等					
	計算機使用料	1,200,000	1,200,000	0	教育学部:80万円、国際地域学部:40万円
	仮想サーバ使用料	866,000	922,000	56,000	UPKI 電子証明書発行料を含む
	仮想基盤使用料	3,720,000	4,120,000	400,000	
	公開 Web サーバ使用料	240,000	240,000	0	月額 5,000 円×12 ヶ月×4 ドメイン
	計算機サーバ室使用料	0	888,000	888,000	
	無線 AP 増設	0	872,419	872,419	部局からの依頼による増設
予算振替					
	エコ改修費	△ 625,000	△ 625,000	0	大学改革・経営戦略推進経費（LED、空調）
	フレックス予算振替（R4→R5）	3,500,000	3,500,000	0	
	フレックス予算振替（R5→R6）	0	△ 4,732,000	△ 4,732,000	3,600,000 円:技術補佐員 2 名分 200,000 円:セキュリティ部門経費 800,000 円:設備改修費 132,000 円:無線 AP 保守窓口契約
総計（C）		248,294,000	244,663,434	△ 3,630,566	

（総合情報共通：支出の部）

項目		予算(A)	決算(B)	比較増減 (A)-(B)	備考
賃金		13,620,000	9,582,563	4,037,437	非常勤職員、派遣職員、夜間アルバイト分
共通経費					
	設備等維持費	900,000	929,907	△ 29,907	清掃、点検、昇降機保守費用
	光熱水料費	8,700,000	7,581,574	1,118,426	電気料、上下水道料
	共通経費	4,483,400	4,439,647	43,753	電話代、コピー代、トナー代、ソフトウェアライセンス、その他消耗品、情報システム更新・無線 LAN 更新対応経費等
システム運用経費					
	情報システムリース	133,128,600	133,128,600	0	11,094,050 円／月
	ネットワークシステムリース	69,247,000	69,246,504	496	11,541,084 円／月

	京都大学計算機利用料	1,980,000	1,980,000	0	
	その他運用経費	1,400,000	1,372,893	27,107	ネットワーク備品交換,修理,停電作業経費
ネットワーク回線経費		10,865,000	10,820,172	44,828	文京-松岡間,文京-敦賀間,附属学校のネットワーク回線 SINET 回線
部門経費					
	情報サービス推進部門	200,000	220,440	△ 20,440	
	情報ネットワーク運用部門	200,000	203,668	△ 3,668	
	情報セキュリティ管理部門	200,000	0	200,000	R5→R6 へ繰越
職員旅費・研修		100,000	103,440	△ 3,440	
認証システム(2018)買取費		1,270,000	1,267,020	2,980	ETERNUS、UPS、PRIMERGY
認証システム改修費		2,000,000	3,776,300	△ 1,776,300	
総計 (D)		248,294,000	244,652,728	3,641,272	

収支 (C) - (D)	10,706
--------------	--------

(専任教員研究費：収入の部)

項目	予算(A)	決算(B)	比較増減(B)-(A)	備考
専任教員研究費	184,000	188,000	4,000	医学部ふるさと納税+4,000円
総計 (E)	184,000	188,000	4,000	

(専任教員研究費：支出の部)

項目	予算(A)	決算(B)	比較増減(A)-(B)	備考
専任教員研究費	184,000	187,933	△ 3,933	
総計 (F)	184,000	187,933	△ 3,933	

収支 (E) - (F)	67
--------------	----

(学長裁量A606001：収入の部)

項目	予算(A)	決算(B)	比較増減(B)-(A)	備考
情報セキュリティ対策経費	12,000,000	12,000,000	0	
総計 (G)	12,000,000	12,000,000	0	

(学長裁量A606001：支出の部)

項目	予算(A)	決算(B)	比較増減(A)-(B)	備考
----	-------	-------	-------------	----

情報セキュリティ 対策経費		12,000,000	9,596,400	2,403,600	
総計 (H)		12,000,000	9,596,400	2,403,600	

収支 (G)－(H)	2,403,600
------------	-----------

(学長裁量A606002：収入の部)

項目	予算(A)	決算(B)	比較増減 (B)－(A)	備考
SINET 接続回線	4,866,000	4,866,000	0	
総計 (G)	4,866,000	4,866,000	0	

(学長裁量A606002：支出の部)

項目	予算(A)	決算(B)	比較増減 (A)－(B)	備考
SINET 接続回線	4,866,000	4,865,520	480	
総計 (H)	4,866,000	4,865,520	480	

収支 (G)－(H)	480
------------	-----

総合情報基盤センター 令和6年度予算

(総合情報基盤センター：収入の部)

項目	予算	備考
特定事項経費	200,211,000	
特定事項経費 (システム)	103,597,000	
電気代支援費		
基本料金分	1,510,000	
高騰分	2,544,000	秋頃追加配分予定
共同利用等		
計算機使用料	1,200,000	教育学部:80 万円、国際地域学部:40 万円
仮想サーバ使用料	900,000	UPKI 電子証明書発行料を含む
仮想基盤使用料	5,280,000	
公開 Web サーバ使用料	240,000	月額 5,000 円×12 ヶ月×4 ドメイン
計算機サーバ室使用料	792,000	
予算振替		
エコ改修費	△ 625,000	大学改革・経営戦略推進経費 (LED、空調)
フレックス予算振替 (R5→R6)	4,732,000	3,600,000 円:技術補佐員 2 名分 200,000 円:セキュリティ部門経費 800,000 円:設備改修費 132,000 円:無線 AP 保守窓口契約
総計 (C)	320,381,000	

(総合情報基盤センター：支出の部)

項目	予算	備考
----	----	----

共通経費	6,911,000	消耗品類, 事務経費等
人件費	13,720,000	非常勤職員、派遣職員、夜間アルバイト分
光熱費	9,092,000	電気料, 上下水道料
設備維持費	930,000	設備保全費, 清掃費
システム運用経費		
情報システムリース	133,128,600	11,094,050 円/月
ネットワークシステムリース	138,493,400	11,541,084 円/月
ネットワーク回線経費	10,821,000	文京-松岡間, 文京-敦賀間, 附属学校のネットワーク回線 SINET 回線
京都大学計算機利用料	2,160,000	
部門経費		
情報サービス推進部門	200,000	
情報ネットワーク運用部門	200,000	
情報セキュリティ管理部門	400,000	R5→R6 へ繰越
設備改修費	800,000	老朽備品の更新
認証システム改修費	3,000,000	
その他運用経費	525,000	電話代, コピー代, 雑誌代等
総計 (D)	320,381,000	

収支 (C) - (D)	0
--------------	---

(専任教員研究費：収入の部)

項目	予算	備考
専任教員研究費	184,000	
総計 (E)	184,000	

(専任教員研究費：支出の部)

項目	予算	備考
専任教員研究費	184,000	
総計 (F)	184,000	

収支 (E) - (F)	0
--------------	---

(学長裁量A606001：収入の部)

項目	予算	備考
情報セキュリティ対策経費	8,618,000	
総計 (G)	8,618,000	

(学長裁量A606001：支出の部)

項目	予算	備考
情報セキュリティ対策経費	8,618,000	
総計 (H)	8,618,000	

収支 (G)－ (H)	0
-------------	---

(学長裁量A606002：収入の部)

項目	予算	備考
SINET 接続回線	4,866,000	
総計 (G)	4,866,000	

(学長裁量A606002：支出の部)

項目	予算	備考
SINET 接続回線	4,865,520	
総計 (H)	4,865,520	

収支 (G)－ (H)	480
-------------	-----

2 役割

総合情報処理システム及び情報ネットワークを管理運用し、 本学における教育、研究、医療、学術情報サービス及び、その他の業務の利用を支援しています。

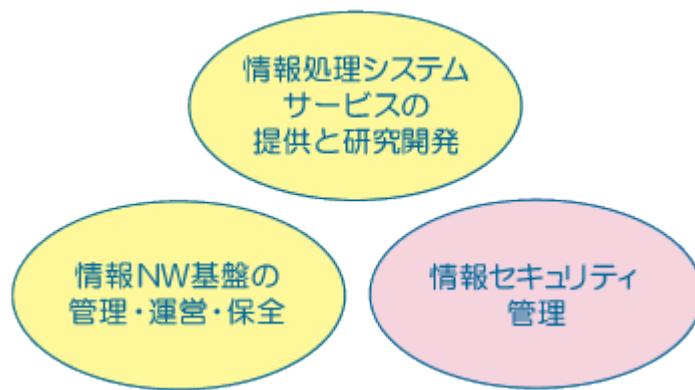
様々なニーズに適したコンピュータの導入・運営はもちろんのこと、広報誌・速報の発行・講演会の開催など、広報教育活動にも積極的に取り組んでいます。

松岡キャンパスでは、病院や臨床研究などのための高度なセキュリティ対策の実施、 ネットワークの状況を常に把握するための監視、 教育研究用コンピュータによるサービス提供と支援を行うことで、 利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理運用を行っています。

3 概要

福井大学総合情報処理センターは、これまでの「学内共同利用施設」としてのセンター業務に加えて、 福井大学情報システム運用基本規程（以下、「情報セキュリティポリシー」という）の運用開始に伴う業務範囲の拡大、 及び本学電子情報政策の拠点としての管理運用の範囲・権限の拡大に対応するため、総合情報処理センターを発展的に解消し、 2009 年 4 月に新たな目的のもとに「福井大学総合情報基盤センター」を設置しました。また、英語名称を、Center for Information Initiative（略称：CII）とし、新たに設置した「福井大学総合情報基盤センター」の目的は、次の通りです。

- （1）情報処理システムサービスを整備、提供し、本学における教育、研究、医療、学術情報サービス及びその他の業務利用に供することにより、本学における情報処理の高度化、最適化及び効率化の進展に資すること。
- （2）情報ネットワーク基盤を整備するとともに、安定的かつ継続的な情報基盤の企画運用を図ることにより、本学の研究・教育・業務の効率化・最適化に資すること。
- （3）福井大学情報セキュリティポリシーを管理運営し、本学の情報システムを利用者に安全かつ安心な基盤として提供し続けるとともに、高等教育機関として、国民、企業、教育機関等と信頼関係を継続すべき本学の情報セキュリティの確保を図ること。



これらの目的遂行のために、「福井大学総合情報基盤センター」は、新たに「情報サービス推進部門」、「情報ネットワーク運用部門」、「情報セキュリティ管理部門」の3部門からなる組織で構成されています。本センターの円滑な運営を図るために、「福井大学総合情報基盤センター運営委員会」を設け、各部門には各々小委員会を設けて運営に当たっています。新たな業務を担当する「情報セキュリティ管理部門」は、「情報セキュリティポリシー」における「情報セキュリティ管理運営部局」として、「全学情報セキュリティ委員会」と連携を保っています。

◎各部門について

「福井大学総合情報基盤センター」の3部門の組織・業務の詳細は次の通りです。

情報サービス推進部門

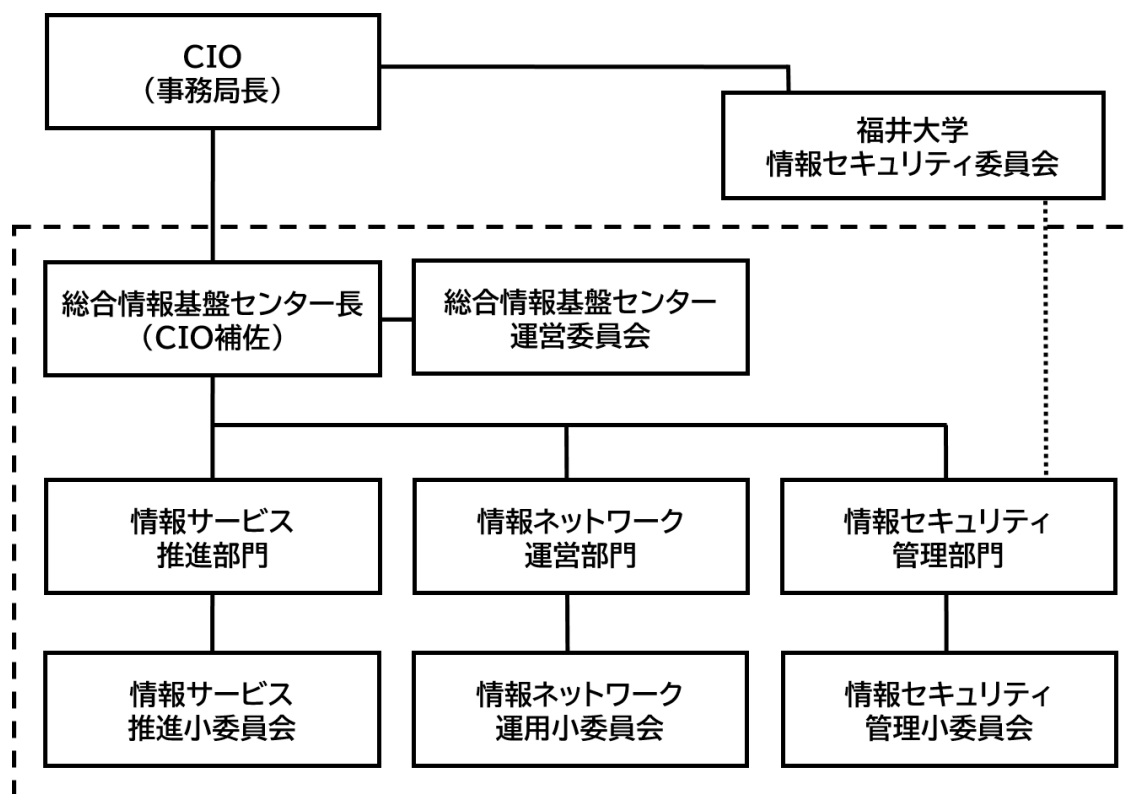
- ・部門長 井上博行兼任教員
- ・情報システムサービスの企画・立案および整備・提供と研究・開発
 - 身近で頼れる情報処理システムサービスの整備・提供
 - 統一認証等、本学の電子情報政策の企画執行

情報ネットワーク運用部門

- ・部門長 大垣内多徳専任教員
- ・ネットワーク等の情報基盤の企画・立案および整備・提供と維持管理・研究
 - 安心で安全な情報基盤の整備・提供
 - ネットワークの管理範囲拡大等、本学の電子情報政策の企画実行

情報セキュリティ管理部門

- ・部門長 山内高弘 副センター長
- ・情報セキュリティの管理運営と教育および開発・研究
 - 情報セキュリティポリシーの管理運営
 - ネットワークの管理範囲拡大等、本学の電子情報政策の企画実行



◎沿革

<組織>

平成 10 年(1998) 3 月	情報処理センター設置 (学内措置) (松岡)
平成 13 年(2001) 4 月	総合情報処理センター設置 (文京)
平成 15 年(2003)10 月	国立大学法人福井大学発足 ・総合情報処理センター (文京) と情報処理センター (松岡) を統合し、総合情報処理センターとなる。
平成 21 年(2009) 4 月	総合情報処理センターから総合情報基盤センターへ改組

<情報ネットワーク (学内 LAN、キャンパス間接続、対外接続) >

平成 15 年(2003) 1 月	SINET ノード設置 (文京)
平成 15 年(2003) 3 月	IPv6 正式運用開始 (松岡)
平成 15 年(2003) 9 月	キャンパス間接続 (文京-松岡) 新規 1G Htnet
平成 15 年(2003)10 月	福井大学と福井医科大学が統合、地域医療系ネットワーク拡大 (福井情報スーパーハイウェイ FISH 経由)
平成 16 年(2004) 4 月	SINET 増速 →100M
平成 18 年(2006) 2 月	SINET 増速 →1G
平成 19 年(2007) 4 月	キャンパス間接続 (文京-松岡) 増速 1G→4G(1gx4) HTnet
平成 20 年(2008) 8 月	二の宮増速 10M 無線→100M フレッツ (教育で契約)
平成 22 年(2010) 3 月	管理要件変更・情報コンセントまでがセンター管理となり、支線についてもセンターで管理運用することとなった。 ・以降、全てのキャンパスに関してセンターで契約。
平成 22 年(2010) 3 月	キャンパス情報統合ネットワーク更新 (文京、松岡、二の宮、八ツ島、病院) (文京、松岡の無線 LAN を含む)
平成 22 年(2010) 3 月	フレッツグループ拠点追加

	・ハツ島 11M無線→100Mフレッツ有線 ・松岡 100Mフレッツ（う回路用）
平成 24 年(2012) 2 月	フレッツグループ拠点追加 ・敦賀 100Mフレッツ
平成 24 年(2012) 3 月	FISH 新規追加 ・敦賀 100M FISH
平成 25 年(2013) 2 月	フレッツ更改増速 100M→1G 二の宮、ハツ島、敦賀 ・松岡は 100M のまま（NTT の都合で増速は不可） ・大阪折返し→県内折返し ・フレッツネクストへ契約変更（松岡以外）
平成 25 年(2013) 5 月	FISH 増速 100M→500M 二の宮、ハツ島、敦賀 ・松岡は、100M→300M（県の都合で 300M まで）・FISH までの回線は、100M→1G に変更。 （FISH 自体を 1G とすることも可能であったが、相当な理由を県に説明し許可を得る必要あり断念。）
平成 27 年(2015)10 月	キャンパス間（文京-松岡）増速 4G(1Gx4)→10G HTnet
平成 28 年(2016) 2 月	SINET5 へ切替 福井大学ノード廃止 DC へ接続 1G→10G
平成 28 年(2016) 4 月	キャンパス情報統合ネットワーク更新（無線 LAN、病院、特別支援を除く）
平成 29 年(2017) 4 月	フレッツ・松岡入れ替えて増速・100M→1G（NTT の都合によるもの）
平成 30 年(2018) 4 月	キャンパス情報統合ネットワーク更新（無線）（病院、附属学校園（二の宮）を除く）
令和 02 年(2020)12 月	SINET・松岡地区の南ルートにて直接、接続。（危機管理対応）
令和 03 年(2021) 3 月	SINET・文京地区と松岡地区の別接続での冗長化。（危機管理対応）
令和 05 年(2023) 4 月	キャンパス情報統合ネットワーク更新（有線+無線）（病院、附属学校園（二の宮）を除く）
（予定） 令和 11 年(2029) 4 月	キャンパス情報統合ネットワーク更新（有線+無線）（病院、附属学校園（二の宮）を除く）

<情報システム更新>

平成 14 年(2002) 2 月	松岡更新
平成 14 年(2002) 3 月	文京更新
平成 19 年(2007) 3 月	更新（以降、学内全域でのシステムとして統合し更新）
平成 24 年(2012) 3 月	更新
平成 30 年(2018) 4 月	更新（仮想基盤、ファイル授受サーバ、デジタルサイネージの導入）
令和 05 年(2023) 4 月	更新（多要素認証の導入）
（予定） 令和 10 年(2028) 4 月	更新

<事業概要（「Ⅲ 事業内容」からの抜粋）>

[平成 21 年(2009)]

情報サービス推進部門

広報誌	センター利用ガイド号
公開講座	コンピュータの意外な使い方（対象：小学生～一般）
	知って得する知らない？パソコン講座（一般）

情報ネットワーク運用部門

構成変更	附属学校園回線変更（10M→100M）（二の宮）（ハツ島）
------	-------------------------------

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティポリシー	情報システム実施基本規程の策定
--------------	-----------------

情報セキュリティセミナー	CII 設置記念
情報セキュリティインシデント対応	Google への不正アクセスへの対応

[平成 22 年(2010)]

情報サービス推進部門

広報誌	センター利用案内
公開講座	コンピュータの意外な使い方 (対象：小学生～一般)
	知って得する知らないとソソする？パソコン講座 (一般)

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	松岡事務局の文京ネットワークへの移動 (松岡)
監視システム	開発、運用

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ研修	新任、新入生 (大学院)、教職員
情報セキュリティインシデント対応	個人情報流出への対応

[平成 23 年(2011)]

情報サービス推進部門

公開講座	コンピュータの意外な使い方 (対象：小学生～一般)
	知って得する知らないとソソする？パソコン講座 (対象：一般)
教員免許状更新講習	情報処理とコンピュータネットワーク (対象：主に県内の教員)

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	敦賀キャンパス接続 (敦賀)
--------------	----------------

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ研修	医療向け、管理者向け、入門編
------------	----------------

[平成 24 年(2012)]

情報サービス推進部門

広報誌	センター利用ガイド号
	センター利用案内
公開講座	コンピュータの意外な使い方 (対象：小学生～一般)
	知って得する知らないとソソする？パソコン講座 (対象：一般)
教員免許状更新講習	情報処理とコンピュータネットワーク (対象：主に県内の教員)
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会 (対象：教員、学生)

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	敦賀キャンパス無線 LAN 整備 (敦賀)
	学生無線 LAN の整備 (拡張含む)、申請・運用開始

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	新任、学生、一般、サーバ管理者
情報セキュリティ強化	ファイアウォール設定変更
	ポート開放申請審査及び対応 (以降、年度更新)
IC カード発行システム	運用

[平成 25 年(2013)]

情報サービス推進部門

公開講座	パーソナルコンピュータ・再入門講座 (初級編) (対象：一般)
教員免許状更新講習	情報処理とコンピュータネットワーク (対象：主に県内の教員)
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会 (対象：教員、学生)
ファイル授受サーバ	運用開始 (メール添付に代わり、上限 500MB で安全に授受する)
ファイルホスティングシステム	教職員、学生向け Z ドライブを提供
仮想サーバシステム (仮想基盤)	試験システムの構築

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	附属小学校に無線 AP 設置（二の宮）
	附属特別支援学校の改修に伴う対応（機器撤去、再構成）（ハツ島）

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	新任、学生、一般
マイクロソフトライセンス調査	対応

[平成 26 年(2014)]

情報サービス推進部門

公開講座	パーソナルコンピュータ・再入門講座（初級編）（対象：一般）
教員免許状更新講習	情報処理とコンピュータネットワーク（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
学認	参加

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	附属特別支援学校の改修に伴う対応（ハツ島）
	附属小学校改修に伴う対応（二の宮）
監視システム	改善

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	新任
マイクロソフトライセンス調査	対応

[平成 27 年(2015)]

情報サービス推進部門

公開講座	パーソナルコンピュータ・再入門講座（初級編）（対象：一般）
教員免許状更新講習	情報処理とコンピュータネットワーク（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	附属小学校改修に伴う対応（二の宮）
	病院再整備に伴う対応（松岡）
	敦賀キャンパス無線 LAN の更新（敦賀）
キャンパス間回線	増速（4G→10G）

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	新任
情報セキュリティインシデント対応	内部拡散及び踏み台への対応
IC カード発行システム	更新

[平成 28 年(2016)]

情報サービス推進部門

公開講座	パーソナルコンピュータ・再入門講座（初級編）（対象：一般）
教員免許状更新講習	情報処理再入門と情報モラル（超入門）（対象：主に県内の教員）
	情報処理再入門と情報モラル（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
統一認証アカウント連携	GoogleWorkspace 教職員の利用開始

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	病院再整備に伴う対応（松岡）
--------------	----------------

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティポリシー	福井大学情報システム運用基本規則の策定
情報セキュリティ講習会	新任

情報セキュリティインシデント対応	外部からの指摘事項への対応
IC カード発行システム	学生等の一斉変更の対応

[平成 29 年(2017)]

情報サービス推進部門

公開講座	一步進んだパーソナルコンピュータ利用講座（初級編）（対象：一般）
教員免許状更新講習	情報処理再入門と情報モラル（超入門）（対象：主に県内の教員）
	情報処理再入門と情報モラル（入門）（対象：主に県内の教員）
	情報処理と ICT 活用指導（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
デジタルサイネージ	各演習室の利用状況の確認が可能となった
災害時対応	大分大学学術情報拠点情報基盤センターとの連携での協定書を終結

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	病院再整備に伴う対応（松岡）
監視	監視機器の更新（OS 入替）

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	新任、構成員
情報セキュリティインシデント対応	外部からの指摘事項への対応
	内部でのウイルス感染への対応
IC カード発行システム	全学向けのシステム変更

[平成 30 年(2018)]

情報サービス推進部門

公開講座	最新 PC 利用講座（対象：一般）
教員免許状更新講習	情報処理再入門と情報モラル（対象：主に県内の教員）
	情報処理と ICT 活用指導（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
ファイルホスティングシステム	Z ドライブの利用でクォータを設定し使いすぎを制限
eduroam	導入
prox	全学サービスを開始
災害時対応	大分大学学術情報拠点情報基盤センターと DNS データを相互にバックアップする体制を整備

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	臨床研究棟耐震工事に伴う対応（松岡）
	医学図書館 AP 追加（松岡）
eduroam	環境構築
NII-SOCS	通報端末の抽出機能開発

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	新任
	e-learning での理解度調査実施（教職員）
情報セキュリティインシデント対応	本省から求められているセキュリティ強化への対応
	外部からの通報事項への対応
	不正プログラム対策実施機器での USB 型検知装置での不正プログラムへの対応

[令和 01 年(2019)]

情報サービス推進部門

公開講座	「Windows10 と MS-Office 2016, モラルとセキュリティを基礎・基本から学ぶ講座」（対象：一般）
------	---

教員免許状更新講習	情報処理再入門と情報モラル（対象：主に県内の教員）
	情報処理と ICT 活用指導（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
統一認証アカウント連携	GoogleWorkspace 学生の利用開始
eduroam	サービス開始
ホスト未登録端末の監視	不正接続監視システムを運用開始
二段階認証	web メールシステムの情報セキュリティ対策で導入
IC カード初期化端末	初期化端末を整備し図書館と教務課に設置
災害時対応	大分大学学術情報拠点情報基盤センターと DNS データを相互にバックアップする体制を運用

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	臨床研究棟耐震工事に伴う対応（松岡）
落雷によるネットワーク障害への対応	6/21 文京地区

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	新任、松岡地区
	e-learning での講習及び理解度調査実施（教職員）
	e-learning での講習及び自己チェックの実施（学生（医学部））
情報セキュリティ訓練	標的型メール訓練
情報セキュリティインシデント対応	本省から求められているセキュリティ強化への対応

[令和 02 年(2020)]

情報サービス推進部門

公開講座	「Windows10 と MS-Office 2016, モラルとセキュリティを基礎・基本から学ぶ講座」（対象：一般）※対面禁止で中止
教員免許状更新講習	ICT 活用と情報モラル（初級編）（対象：主に県内の教員）
	ICT 活用と情報モラル（中級編）（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
新型コロナウイルス対応	遠隔授業支援、端末室の消毒
	webex の運用支援
	GoogleGroup の作成
	GoogleClassroom の教師権限を付与
	GoogleMeet の運用
二段階認証	学外からの統一認証システムの利用に対して導入

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	生物資源棟改修工事に伴う対応（松岡）
	附属特別支援学校のぞみの家改修工事での対応（ハツ島）
	対外接続（SINET）の冗長化（松岡からの回線を追加）

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	教職員（対面、web）
	e-learning での講習（教職員）
	e-learning での講習（学生（文京））
情報セキュリティ訓練	標的型メール訓練
脆弱性診断	主に外部公開サーバで実施
情報セキュリティインシデント対応	本省から求められているセキュリティ強化への対応

[令和 03 年(2021)]

情報サービス推進部門

公開講座	「Windows10 と MS-Office 2016, モラルとセキュリティを基礎・基本から学ぶ講座」（対象：一般）※対面禁止で中止
教員免許状更新講習	ICT 活用と情報モラル（初級編）（対象：主に県内の教員）
	ICT 活用と情報モラル（中級編）（対象：主に県内の教員）
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）

新型コロナウイルス対応	遠隔授業支援、端末室の消毒
GoogleWorkspace	容量制限について周知
MS365	導入に向け調整
学生無線 LAN	申請のオンライン化及び情報セキュリティ研修の必須化
問い合わせ等のオンライン申請化	
ファイルホスティングシステム	メール領域の逼迫でメールの整理等を周知
ホスト登録	文京でオンライン申請を開始
UPKI 証明書	発行サービスを開始

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	学生交流センター設立に伴う対応（撤去、構築）（文京） 体育館及び多目的ホールに無線 AP を追加（文京）
--------------	---

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ対策計画	策定し計画に基づき実施
情報セキュリティ講習会	e-learning での講習（教職員） e-learning での講習（学生）
情報セキュリティ訓練	標的型メール訓練
脆弱性診断	主に外部公開サーバで実施 文科省ペネトレーションテストの実施
情報セキュリティインシデント対応	本省から求められているセキュリティ強化への対応
情報セキュリティ対策の再評価	自己点検を実施

[令和 04 年(2022)]

情報サービス推進部門

教員免許状更新講習	※廃止のため、実施されなかった。
京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
新型コロナウイルス対応	遠隔授業支援、端末室の消毒
GoogleWorkspace	二段階認証の導入
MS365	サービス利用開始（統一認証アカウント連携あり）
仮想サーバ	運用促進
統一認証 ID	オンライン申請を整備し開始

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	全学ネットワーク構成の最適化
	工学部計算機更新に伴う対応（文京） 拠点スイッチの統合（工学系 4 号館、工学系実験棟、学生支援センター、医学図書館）（文京）（松岡） 附属義務教育学校後期課程関連（改修、移転）（二の宮）（文京） 工学系 2 号館改修に伴う対応 附属病院 HCU（松岡）

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	e-learning での講習（教職員） e-learning での講習（学生）
情報セキュリティ訓練	標的型メール訓練
脆弱性診断	主に外部公開サーバで実施
情報セキュリティ対策の再評価	自己点検を実施

[令和 05 年(2023)]

情報サービス推進部門

京都大学スーパーコンピュータ	利用講習会（対象：教員、学生）
新型コロナウイルス対応	遠隔授業支援、端末室の消毒
ワンタイムパスワード（OTP）	導入し運用開始
メールドメイン認証	対応（DKIM/DMARC/SPF/ARC）

情報ネットワーク運用部門

情報ネットワーク構成変更	講義棟、実習棟の無線増強
無線 LAN	二の宮地区で学生実習で利用のため、UFmember を利用可とした (二の宮)

情報セキュリティ管理部門

情報セキュリティ講習会	e-learning での講習 (教職員)
	e-learning での講習 (学生)
情報セキュリティ訓練	標的型メール訓練
脆弱性診断	主に外部公開サーバで実施
監視	不正通信監視システムを掲示し事務局で監視を実施
	クラウド方 WAF を導入し仮想サーバで運用の 1 サイトで防御を開始
情報セキュリティインシデント	対応マニュアルを eoffice に掲載

Ⅱ 基準ごとの自己評価

基準1 センター等の設置目的等

(1) 基準ごとの分析

1-1 設置目的が明確に定められており、その内容が本学の目的等に適合するものであること。

評価：A

【基準に係る状況】

総合情報基盤センターの設置目的は、総合情報処理センターから総合情報基盤センターへと改組した際に、改め、福井大学総合情報基盤センター規程（平成21年3月17日 福大規程第18号）により設置目的を明確に定めている。

第2条 センターの目的は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 情報処理システムサービスを整備、提供し、本学における教育、研究、医療、学術情報サービス及びその他の業務利用に供することにより、本学における情報処理の高度化、最適化及び効率化の進展に資すること。
- (2) 情報ネットワーク基盤を整備するとともに、安定的かつ継続的な情報基盤の企画運用を図ることにより、本学の研究・教育・業務の効率化・最適化に資すること。
- (3) 福井大学情報システム運用基本規則（平成28年福大規則第21号）及び福井大学情報システム実施基本規程（平成21年福大規程第39号、以下、併せて「情報セキュリティポリシー」という。）を管理運営し、本学の情報システムを利用者に安全かつ安心な基盤として提供し続けるとともに、高等教育機関として、国民、企業、教育機関等と信頼関係を継続すべき本学の情報セキュリティの確保を図ること。

【分析結果とその根拠理由】

本学の中期目標・中期計画の業務運営での取り組みでの様々な施策を実施していく上での重要な情報基盤と情報サービスを安定的、安全に維持、運用しており、目的に適合している。

1-2 設置目的が、本学構成員に周知されているとともに、地域・社会に公表されていること。

評価：A

【基準に係る状況】

総合情報基盤センターホームページにて、設置目的等を広く公表している。

【分析結果とその根拠理由】

総合情報基盤センターホームページでの設置目的の公表について、参照権限を設けておらず、学外からも参照可能な状態である。

1-3 設置目的、活動が、中期目標・計画を含め本学の短期・中期の目標等の達成に資するものであること。

評価：A

【基準に係る状況】

教育、研究及び業務の遂行での情報環境整備として重要な情報基盤を維持、運用してきたことで、本学の目標等の達成を支えている。

- ・ AI・RPA (Robotic Process Automation) をはじめとしたデジタル技術の活用や、マイナンバーカードの活用等により、業務全般の継続性の確保と併せて、機能を高度化するとともに、事務システムの効率化や情報セキュリティ確保の観点を含め、必要な業務運営体制を整備し、デジタル・キャンパスを推進する。
- ・ 業務全般の質の確保と機能の高度化を目指し、デジタル技術の活用に適した対象業務の洗い出しを行うとともに、運用環境の整備や開発人材の育成を推進し、AI・RPA などデジタル技術の活用による業務運営体制を整備する。
- ・ 情報セキュリティ確保の観点から、セキュリティポリシーの下、引き続き、情報及び情報ネットワークの適正な使用、不正アクセスの防止措置など、情報セキュリティの質の維持・向上に資する研修を行っていく。

【分析結果とその根拠理由】

本学の目標等の達成に重要な情報基盤として、キャンパス統合情報ネットワークシステムと情報システムを老朽化、陳腐化することなく、定期的に更新し、より、安定的、安全に維持、運用、発展してきた。

コロナ禍期においては、遠隔授業の実施において、既存のシステムを利用した方法で支援を行い、また、対面を避けるためのオンライン申請の拡充と大学の機能を損なうことなく運用してきた。

(2) 基準1における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

本学の目標等の達成に重要な情報基盤について、予算の限られているなか、より、安定的、安全に維持、運用、発展してきている。コロナ禍期においては、別途、経費を要せず、既存システムの利用、独自開発で対応してきた。

【改善を要する点】

限られた予算のなかでの限界もあり、情報基盤のあり方の検討、人材の確保、人材の育成が必要と考えている。

基準2 センター等の組織

(1) 基準ごとの分析

2-1 設置目的を達成する上で必要な組織構成・実施体制が適切に整備され、機能していること。

評価：A

【基準に係る状況】

総合情報基盤センターへ改組した際に3部門制へと移行し、それぞれの分野、役割を明確にし、活動している。

【分析結果とその根拠理由】

3部門の役割に沿って、サービスの継続、課題等の対応を行ってきているが、部門の垣根を超え、協力し取り組んでいる事例もあり、全体的に良い方へ向かっている。

2-2 設置目的を達成する上で必要な構成員が適切に配置されていること。

評価：B

【基準に係る状況】

専任が少なく、多くの兼任により支えられており、限られた人員での現状維持の取り組みとなっている。

【分析結果とその根拠理由】

現状の人員構成での限界は感じており、より新しい技術を取り入れていくためにも、専任教員の増が必須と考えている。また、人材の育成においても、担当する人材の確保が必須と考える。

(2) 基準2における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

3部門制により、各部門の専門性を活かした取り組みが行われており、また、部門の垣根を超えた、全体的な取り組みも行われている。

【改善を要する点】

限られた人員での限界も感じており、さらなる発展のため、人材の確保、育成においても、専任教員の増が必須と考える。

基準3 活動状況と成果・効果

(1) 基準ごとの分析

3-1 設置目的に沿った活動が、充分に行われていること。

評価：S

【基準に係る状況】

機器の陳腐化、システムの最適化、情報セキュリティ確保での最新版の導入、危機管理でのキャンパス内での経路も冗長化の上、各キャンパスからの外部接続を追加し対策した。また、各種申請のオンライン化を進め、利用者、運用面の両方での負担軽減となった。コロナ過では、遠隔授業WGに参加協力し、遠隔授業ポータルを立ち上げ、既存のオンラインツールを利用した遠隔授業の運用方法をガイドし、また、在宅勤務においても、学外接続での接続数を拡大するなど、大学の運営の継続に貢献した。

【分析結果とその根拠理由】

定期的な機器の更新作業で継続性を確保し、限られた予算、人員での対応で、大学の機能を損なうことなく、現状にあった取り組みが行えている。

3-2 設置目的の達成に資する成果・効果があがっていること。

評価：A

【基準に係る状況】

情報システムサービス、情報ネットワーク基盤の定期的な更新により、その時代に応じた、機能等を取り入れ、安定稼働はもちろんのこと、サービスの向上、情報セキュリティの確保、災害対策と基盤を整備してきた。

【分析結果とその根拠理由】

機器の更新のタイミングで、新しいサービスの導入や改善を行い、また、情報対策においても、2段階認証、多要素認証を導入し、高度化、最適化及び効率化がなされており、目的に資する成果、効果は上がっている。

3-3 本学の目的等の達成に資する成果・効果があがっていること。

評価：A

【基準に係る状況】

情報システムサービス、情報ネットワーク基盤の定期的な更新により、その時代に応じた、機能等を取り入れ、安定稼働はもちろんのこと、サービスの向上、情報セキュリティの確保、災害対策と基盤を整備してきた。

【分析結果とその根拠理由】

機器の更新のタイミングで、新しいサービスの導入や改善を行い、また、情報セキュリティ対策においても、2段階認証、多要素認証を導入し、高度化、最適化及び効率化がなされており、当センターの設置目的の延長上にある本学の目的に資する成果、効果は上がっている。

3-4 本学の中期目標・計画を含め本学の短期・中期の目標等の達成に資する成果・効果があがっていること。

評価：A

【基準に係る状況】

情報システムサービス、情報ネットワーク基盤の定期的な更新により、その時代に応じた、機能等を取り入れ、安定稼働はもちろんのこと、サービスの向上、情報セキュリティの確保、災害対策と基盤を整備してきた。

【分析結果とその根拠理由】

機器の更新のタイミングで、新しいサービスの導入や改善を行い、また、情報セキュリティ対策においても、2段階認証、多要素認証を導入し、高度化、最適化及び効率化がなされており、目標等に資する成果、効果は上がっている。

3-5 活動状況及びその成果・効果が、学内及び地域・社会に対して公表されていること。

評価：A

【基準に係る状況】

新規の取り組みや利用ガイドなど、その都度、周知、報告している。

【分析結果とその根拠理由】

新規の取り組みや利用ガイドなど、その都度、周知、報告しているが、成果、効果の内容としては充分とは言えないが、情報セキュリティインシデントは着実に減少している。

(2) 基準3における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

より早期にかつ、経費をかけず、各種の取り組みを実施できており、成果、効果もあがっている。

【改善を要する点】

継続的に機器の更新のタイミングで、新しいサービスの導入や改善を行い、また、情報セキュリティ対策においても、2段階認証、多要素認証を導入し、高度化、最適化及び効率化がなされており、目標等に資する成果、効果は上がっている。

基準4 学生・研究者等の受入れ、支援等（該当する場合）

(1) 基準ごとの分析

4-1 設置目的に沿って、学生・研究者等を適切に受入れていること。

評価：該当なし

【基準に係る状況】

【分析結果とその根拠理由】

4-2 設置目的に沿った履修指導・研究指導を含め支援等が適切に実施され、成果・効果があがっていること。

評価：該当なし

【基準に係る状況】

【分析結果とその根拠理由】

(2) 基準4における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

該当なし

【改善を要する点】

該当なし

基準5 施設・設備

(1) 基準ごとの分析

5-1 活動する上で必要な施設・設備が適切に整備されていること。

評価：B

【基準に係る状況】

情報システムサービス、情報ネットワーク基盤の定期的な更新により、教育、研究、業務の情報基盤を損なうことなく提供できている。

文京地区の建屋は、昭和62年（1987年）の建築から、35年以上経過しており、建物の老朽化による支障等は、まだ、見当たらないが、空調設備の老朽化による環境悪化が著しく、概算要求（施設整）等で予算確保の調整を行い、対応を進め、令和3年（2021年）には、第2演習室（2階）の空調設備（換気を含む）が更新されたが、第1演習室（1階）は、予算要求の対応中である。建物以外では、演習室の机の天板がはがれるなどし、老朽化が進んでおり更新の必要も出てきている。

松岡地区は、病院再整備時（平成27年（2015年））にB棟1階に管理室、サーバ室、ネットワーク室が設置されている。

また、学内のエコ改修事業により、平成31年（2019年）に文京地区の建屋の照明がLED化されている。

【分析結果とその根拠理由】

定期的な情報基盤の設備更新、空調設備更新、照明の LED 化と、教育、研究、業務の情報基盤が確保され、空調設備、照明の LED 化で学主環境の改善と、適切に整備されている部分もあるが、電算室の空調設備の更新、情報ネットワークの各拠点に設置の無停電装置の更新が、予算不足で対応されていない。

5-2 活動する上で必要な施設・設備が有効に活用されていること。

評価：S

【基準に係る状況】

教育研究活動を展開する上で、教職員及び学生が授業内外においてインターネットに接続できる環境及び学生の実習の場として、文京地区の建屋を時間外も開館し、整備している。

【分析結果とその根拠理由】

定期的に更新されている情報システムサービス、情報ネットワーク基盤、文京地区の建屋での空調設備更新（一部）、照明の LED 化により、教育、研究、業務の情報基盤が維持されており、文京地区の建屋での学習環境の改善がなされており、支障なく利用されている。

（2）基準5における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

情報システムサービス、情報ネットワーク基盤の定期的な更新による、質の確保と文京地区の建屋の空調設備更新により、より良い環境を提供できている。

【改善を要する点】

今後、文京地区の建屋の老朽化による、設備（演出室の机、音響設備、電気配線、給排水設備など）、両地区の電算機室、サーバ室、ネットワーク室の空調設備の維持に金銭面での課題があり、24 時間開館の要望がある場合には、新たな設備の導入も必要となる。さらに、BCP を念頭にした、施設設備の更新の検討も必要と考える。

また、松岡地区の管理室は、当初より手狭であり、窓がなく、精神的にも良いとは言えず、他の場所（管理棟、臨床研究棟、B 棟の上層階など）で新たに確保できないかと思案している。

基準6 財務

（1）基準ごとの分析

6-1 設置目的に沿った活動を適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有していること。

評価：B

【基準に係る状況】

現状の予算配分では、維持が限度である。新規事業、機器更新は別途、予算確保の必要があり、努力してきた。

【分析結果とその根拠理由】

現状では充分とは言えず。維持に徹している。機器更新は別途、予算確保が行えているが、新規事業については、後手となっている。

6-2 設置目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画が策定され、適切に履行されていること。

評価：S

【基準に係る状況】

毎年度、運営委員会にて、事業計画を点検、評価し、この計画に沿った、予算配分にて、適切に予算を執行している。

【分析結果とその根拠理由】

限られた予算のなかで、計画に基づき適切に執行している。

（2）基準6における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

限られた予算のなかで、確実に機器、システムの更新を行い、仮想基盤や多要素認証の導入など、進化してきた。また、コロナ禍での遠隔授業支援では、経費をかけずに、既存システムの応用で対応した。

【改善を要する点】

現状、ほぼ、維持経費となっており、新規事業や新しいニーズへの対応に向けた研究・実験に要する経費が乏しく、新たな取り組みを積極的に展開しにくい状況である。限られた予算のなかで、どう補っていくか、慎重な検討が必要である。

基準7 管理運営

(1) 基準ごとの分析

7-1 管理運営に関する方針が明確に定められ、それらに基づき適切な規定等が整備されていること。

評価：A

【基準に係る状況】

運営委員会、センター会議（毎月）での調整により、管理運営の方針を明確にしており、この結果で、必要に応じ整備を進めている。また、必要な規定も整備している。

- ・福井大学総合情報基盤センター規程
- ・福井大学ドメイン名の利用基準に関する要項
- ・福井大学統一認証システム利用要項
- ・福井大学統一認証システムデータ二次利用要項
- ・福井大学総合情報基盤センター専門小委員会要項
- ・福井大学キャンパス無線 LAN サービス学生利用要項
- ・福井大学総合情報基盤センター利用要項
- ・福井大学キャンパス情報ネットワーク利用要項
- ・福井大学総合情報基盤センター情報システム運用管理要項
- ・福井大学総合情報基盤センターにおける間接経費等の取扱いに関する申合せ
- ・福井大学学内統一認証及び認証 IC カード等の利用における機密保持に関する申合せ
- ・福井大学学術研究院基盤部門総合情報基盤センター専任教員の昇格及び再任に係る業績審査の方法に関する申合せ
- ・福井大学学術研究院基盤部門総合情報基盤センターにおける専任教員業績評価基準

【分析結果とその根拠理由】

運営委員会、センター会議において、方針等が明確に定められ、運営管理に必要な規程等が整備されている。

7-2 設置目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。

評価：A

【基準に係る状況】

運営委員会が設置されており、センター会議（メンバーは兼任教員を含む関係者）、情報サービス推進部門会議を毎月開催し、必要な調整がなされており、経営企画部情報企画課（情報基盤担当）が所掌事務を行っている。

【分析結果とその根拠理由】

運営委員会、センター会議、情報サービス推進部門会議、所掌事務（情報企画課（情報基盤担当））により、管理運営体制が整備され、機能している。

(2) 基準7における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

毎月開催のセンター会議、情報サービス推進部門会議での調整にて確認された認識により、対応や改善がなされており、必要な事務も情報企画課により対応されており、有効に機能している。

【改善を要する点】

情報サービス推進部門以外の部門においては、定期的な会議等で調整を行っていない。

基準 8 内部質保証

(1) 基準ごとの分析

8-1 活動の状況やその成果・効果について、自己点検・評価を行い、その結果を改善につなぐ適切な体制（内部質保証体制）が整備されていること。

評価：A

【基準に係る状況】

毎年度の事業報告、事業計画について、運営委員会で点検、評価を行い、必要なものは改善を行っている。

【分析結果とその根拠理由】

運営委員会での評価に対する対応の他、コロナ過の対応など、その状況に応じ、点検、評価の上、迅速に改善が行える体制となっている。

8-2 内部質保証体制が有効に機能していること。

評価：A

【基準に係る状況】

運営委員会、センター会議、情報サービス推進部門会議にて、実施事項の点検や評価が行われており、改善の必要があれば、再度、調整の上、改善を行っている。

【分析結果とその根拠理由】

情報サービス推進部門会議にて、より現場に近い状況での調整がなされ、センター会議にて、認識を共有し、重要事項は、運営委員会の承認のもと、実施されている。

8-3 全学テーマ別自己点検・評価に係る点検・評価項目*の基準等が満たされていること。（該当する場合）

*全学テーマ別自己点検・評価に係る点検・評価項目

- ・教育研究活動を展開する上で、教職員及び学生が授業内外においてインターネットに接続できる環境があるなど、必要な ICT 環境を整備していること。
- ・ICT 環境の整備充実に向けた取組に加え、これらを維持・管理するためのメンテナンスやセキュリティ管理を行っていること。

評価：S

【基準に係る状況】

情報システムサービス、情報ネットワーク基盤の定期的な更新、改修、新設建屋への対応、無線 AP の増設などの対応により、教育、研究、業務の情報基盤を損なうことなく、必要な ICT 環境を整備してきている。さらに、情報セキュリティを確保するため、2段階認証、多要素認証の導入、ポート開放、継続利用などの年度更新を実施し、予防効果を高めている。

学生の実習環境についても、文京地区の建屋は、昭和 62 年（1987 年）の建築から、35 年以上経過しており、建物の老朽化による支障等はまだ、見当たらないが、空調設備の老朽化による環境悪化が著しく、概算要求（施設整）等で予算確保の調整を行い、対応を進め、令和 3 年（2021 年）には、第 2 演習室（2 階）の空調設備（換気を含む）が更新されたが、第 1 演習室（1 階）は、予算要求の対応中である。

また、学内のエコ改修事業により、平成 31 年（2019 年）に文京地区の建屋の照明が LED 化されている。

【分析結果とその根拠理由】

限られた、予算、人員、期間のなかで、情報システムサービス及び情報ネットワークの定期的な更新と安定稼働、学内での新設、改修での対応、情報セキュリティの向上と確保、学生の実習環境の整備運営、教育・研究・業務でのインフラとしての情報環境を損なうことなく維持してきている。

(2) 基準 8 における優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

少数精鋭、最適化及び効率化を目指した結果、限られた予算、人員にて、最低限を確保し、維持できている。

【改善を要する点】

予算、人員の増を切に願う。

Ⅲ 事業内容

□平成21年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

・教育広報活動

- 学生対象 (1)共通教育大学教育入門セミナー (計5回)
(2)共通教育講義「総合情報処理」(集中講義)
- 教職員対象 (1)CII設置記念「情報セキュリティセミナー」7月21日(火) 15:00~17:00
- 速報の発行 19回発行
- 広報の発行 アーカイブ センター利用ガイド号 2010年度版
- 簡易版の発行 2009年度利用案内 04月発行 新入生オリエンテーション時に配布
- ガイダンス 4/7 新入生オリエンテーション(文京)
4/8 新入生オリエンテーション(松岡)

・地域支援

- 公開講座 7/25 コンピュータの意外な使い方
対象:小学生~一般(小学校低学年は保護者同伴)
募集人数:14人 受講料:無料 参加者数:12人
- 8/8 知って得する知らないとソソる?パソコン講座
対象:一般市民
募集人数:25人 受講料:無料 参加者数:32人

- その他 (1)情報系NPOボランティア活動への支援
NPO法人「ナレッジふくい」の理事として運営の支援を行う。
- (2)ICT利用活用能力強化事業「I-ネットキャラバン291」への支援
講師登録(情報セキュリティ講座に対する無償講師派遣活動)
- (3)ICTに関する地方自治体への支援
- (4)e-ネットキャラバンへの支援
- (5)福井市情報化推進会議委員

◇情報ネットワーク運用部門

- ・ネットワーク導入作業
導入に関わる導入業者との打ち合わせ 15回開催
- ・附属学校園回線変更
- ・センタードメイン名変更に関する作業一連(ccns->cii)
DNS
証明書
- ・障害対応 文京 52回, 松岡 24回
- ・停電作業 文京 6回, 松岡 7回
- ・その他の作業 42回

◇情報セキュリティ管理部門

- ・学内セキュリティ管理
各部局セキュリティポリシー作成への支援と相談
インシデント情報の収集と状況分析(重要事象2件)
- 1/4 Googleへの不正アクセスによる閲覧制限
- 1/12 学内サーバーを踏み台にした警視庁サーバーへのSSHアタック
- セキュリティに関する説明会の実施
- 3/2 医療安全講習会の中でのセミナー

2. 委員会等活動（末尾の数字は開催回数）

委員会及び諮問機関は、図のように位置付けられている。また、総合情報基盤センターの実務的な役割を果たすセンター会議、随時必要に応じて開催されるWG等がある。

(1) 運営委員会	2	(2) センター会議	27
(3) 情報サービス推進小委員会	4	(4) 公開講座実行WG	1

3. 研究開発

- (1) ICカード及びICtagのセキュリティ運用に関する研究
- (2) 科学技術シミュレーションのための並列計算高速化手法の開発
- (3) e-Learning システムの構築と運用
- (4) 汎用熱流体解析ソフトウェアの利便性と精度の検討
- (5) 高可用性ネットワーク運用を支援するシステムに関する研究・開発
- (6) 機能貸仮想サーバーに関する研究・開発

4. 対外活動

・連絡会議

(1) 平成 21 年度北信越・国立大学情報系センター会議	H21/5/15	長岡技術科学大学
(2) 第 6 回国立大学法人情報系センター協議会総会	H21/6/25-26	東京農工大学
(3) 第 21 回情報処理センター等担当者技術研究会	H21/9/2-4	熊本大学
(4) 第 4 回情報系センター研究交流・連絡会議及び第 13 回学術情報処理研究集会	H21/9/16-19	秋田大学 60 周年記念ホール
(5) 第 4 回国立大学法人情報系センター長会議	H21/10/22-24	ホテルルートイン 福島
(6) 第 18 回国立大学センター情報システム研究会総会 および論文誌編集委員会	H21/12/3-4	富士通関西システムラボ（大阪）
(7) IP ネットワーク連絡会および第 18 回 NCA5 総会 並びに第 8 回京都大学学術情報メディアセンター シンポジウム	H22/2/24	京都大学

・研修

(1) 富士通「仮想化技術&トピックス」	H22/2/5	金沢リサーチビル
・意見交換・情報収集		
(1) サイエティフィック・システム研究会第 31 回通常総会	H21/5/22	富士通（株）汐留本社
(2) 第 13 回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム	H21/6/4-6	コソノバ ホテル（和歌山県白浜町）
(3) IS 研世話人会	H21/8/12	富士通株式会社汐留本社
(4) 日立 IT ユーザ会北陸支部 2009 シンポジウム	H21/10/8	ホテル金沢（金沢市）
(5) 学術認証フェデレーション及び SINET サービス説明会	H21/10/27	金沢大学
(6) 学術認証フェデレーション及び SINET サービス説明会	H21/11/19	キャンパス 京都
(7) 東京農工大学総合情報メディアセンターシンポジウム	H21/11/27	東京農工大学
(8) 国公立大学センター情報システム研究会 論文誌編集	H22/1/8	汐留シティセンター
(9) 2009 年度 IS 研北陸ブロック会議	H22/2/17	富士通北陸システム
(10) 第 3 回統合認証シンポジウム	H22/3/26-27	佐賀大学理工学部

□平成 22 年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

・教育広報活動

学生対象	(1) 共通教育	「大学教育入門セミナー」（計 5 回）	4/12-4/16
	(2) 共通教育	「総合情報処理」（集中講義）	9/27-9/30
パンフレット発行	センター利用案内 3 月発行（2000 部） （H23 年度新入生オリエンテーション時に配付）		
ガイダンス	4/2	新入生オリエンテーション（文京）	

	4/3	新入生オリエンテーション（松岡）
・研究支援活動 教職員・学生対象	5/19	京都大学スーパーコンピュータ講習会 参加者数： 教員3名、学生28名、その他3名（総数34名）
・地域支援 公開講座	7/31	コンピュータの意外な使い方 対象：小学生～一般（小学校低学年は保護者同伴） 募集人数：14人 受講料：無料 参加者数：14人
	8/7	知って得する知らないとソソる？パソコン講座 対象：一般市民 募集人数：25人 受講料：無料 参加者数：22人
その他 (田中専任講師登録)	(1)	情報系NPOボランティア活動への支援 NPO法人「ハッブふくい」の理事として運営の支援を行う。
	(2)	ICTに関する地方自治体への支援
	(3)	e-ネットキャラバンへの支援
	(4)	福井市地域情報化計画策定審議会委員

◇情報ネットワーク運用部門

- ・ネットワーク運用
- ・ネットワーク構成変更
 - 松岡事務局の文京ネットワークへの移動
 - 情報メディア引越し対応
 - 病院情報システムコンテナ対応
 - 対サイバーテロ予告対応防火壁設定変更(指示を受けての作業)
 - スイッチ追加(文京42, 松岡 29)
 - 情報コンセント単位の変更(文京 356件, 松岡 151 件)
 - コアスイッチ侵入対策(文京 指示を受けての作業)
 - 旧ドメイン廃止シミュレーション
- ・ネットワーク機器保守
 - スイッチ接続ポートの確認(松岡 3000)
 - 有線スイッチファームウェア更新(文京 157, 松岡 180)
 - 無線コントローラファームウェア更新
 - スイッチ故障交換(文京 7, 松岡 11)
- ・ネットワーク障害対応 文京35回, 松岡19回
- ・監視システムの開発、運用

◇情報セキュリティ管理部門

- ・セキュリティ研修の実施
 - 新任に対するオリエンテーション (H22/4/5)
 - 新入生(大学院)に対するオリエンテーション (H22/4/2)
 - 実習に対するオリエンテーション (H22/7/26)
- 教職員に対する情報セキュリティ研修会の開催
(講師：山下情報セキュリティ管理部門長)
 - 2010/10/21-22 出席者数 139人(全学向け、文京：116人、松岡：23人)
 - 2010/11/05 出席者数 100人(教育地域科学部教職員)
 - 2011/02/03 出席者数 (医学部教職員)
 - 2011/03/05 出席者数 28人(技術部職員)
- ・インシデント対応
 - 2010/09/18 中国民間団体によるサイバー攻撃予告
ファイアウォールによる対策の実施
 - 2010/09/26 個人情報流出に係るインシデント発生

09/29 教職員に対する注意喚起
 10/07 インシデント委員会の開催
 10/07以降 教職員に対する情報セキュリティ研修会の開催及び、
 サーバ管理に対する総合情報基盤センターの体制の強化の実施

◇特命担当 - 情報システム更新

◇特命担当 - 無線LAN整備

・W-LAN設備拡充計画の策定（文京地区）

3年計画 アクセスポイント設置 364か所（全体）

2. 委員会等活動（末尾の数字は開催回数）

(1) 運営委員会	1	(2) センター会議	23
(3) 情報サービス推進小委員会	3	(4) インシデント対応委員会	1
(5) 情報セキュリティ委員会	8	(6) 総合情報基盤センター情報システム仕様策定WG	4

3. 研究開発

- (1) ICカードによるセキュリティ応用に関する研究
- (2) 授業における情報機器の効果的利用に関する研究
- (3) 高可用性ネットワーク実現のための運用管理手法の開発
- (4) 機能貸仮想サーバの推進・機能検討、実装

4. 対外活動

・連絡会議

(1) 平成22年度第1回学術情報ネットワークノード担当者会議	H22/6/3-6/4	国立情報学研究所 学術総合センター
(2) 第7回国立大学法人情報系センター協議会総会	H22/7/14-7/15	東京海洋大学品川キャンパス
(3) 第5回情報系センター研究交流・連絡会議及び、第14回学術情報処理研究集会	H22/9/9-9/10	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
(4) 第22回情報処理センター等担当者技術研究会	H22/9/16-9/17	国立大学法人名古屋工業大学
(5) 第5回国立大学法人情報系センター長会議・研修	H22/10/22	ホテル日光奈良
(1) 富士通講習会 LAN/WANの構築実習・実践トレーニング（cisco編）	H22/6/14-6/16	TWIN2IMIDタワー（大阪市）
(2) ふくい産業支援センターデータセンター人材育成研修 ネットワーク技術編 ・意見交換・情報収集	H23/3/14-3/18	福井県産業情報センター
(1) 第14回サーバー犯罪に関する白浜シンポジウム	H22/6/3-6/5	和歌山県立情報交流センター Big・U
(2) 第2回(IOT 通算第10回)研究会	H22/7/15-7/16	東京海洋大学品川キャンパス
(3) 第9回情報科学技術フォーラム	H22/9/6-9/9	九州大学医学部
(4) IBM クラウドアカデミー2010	H22/10/1	日本アイ・ビー・エム(株)
(5) 第3回(IOT 通算第11回)研究会	H22/10/15	大阪市立大学杉本キャンパス
(6) 平成22年度 第3回 インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2010)	H22/12/1-12/3	山口ケベレビジョン(株)
(7) 第4回統合認証シンポジウム	H22/12/22-12/23	佐賀大学教養教育運営機構
(8) 2010年度 IS 研北陸ブロック会議	H23/2/4	ヴィサーージュ（金沢市）

◎情報システム調達について

情報システム調達特命担当 安岡

情報システムの調達は、本学の情報基盤を提供するために必要なインフラを構築するための、学内情報インフラとしての最新の技術や装置に更新を行い、これからの大学の研究・教育・運営を円滑に行うことを目的としています。

このため、最新の情報技術を取り入れるとともに、長期的な展望を考慮するとともに、効率的な運用が行えるシステムを目指しています。

総合情報基盤センターにおいては、下記のような役割があります。

- ・情報処理システムサービスを整備、提供し、本学における教育、研究、医療、学術情報サービス及びその他の業務利用に供することにより、本学における情報処理の高度化、最適化及び効率化の進展に資すること。
- ・情報ネットワーク基盤を整備するとともに、安定的かつ継続的な情報基盤の企画運用を図ることにより、本学の研究・教育・業務の効率化・最適化に資すること。
- ・福井大学情報セキュリティポリシーを管理運営し、本学の情報システムを利用者に安全かつ安心な基盤として提供し続けるとともに、高等教育機関として、国民、企業、教育機関等と信頼関係を継続すべき本学の情報セキュリティの確保を図ること。

本調達では、このような役割を考慮し、大学全体の情報基盤の整備と効率的な運用を計画しています。

このような状況の中、「学内の研究教育運営環境の情報化の整備・強化」を主たる目的として、以下の基本的な事項の達成を行い、最新の技術に基づいた情報システムへと更新するものです。ここでは、既存ネットワークを有効活用したシステム構築を行い、最新のハードウェア及びソフトウェア等導入し、情報処理環境の充実・強化を図ろうとするものです。

- 多様化・高度化する研究に対応できる電子計算機システムの導入
- 教育研究業務支援のための仮想サーバの提供
- 情報処理基礎教育のための演習室環境の提供
- 情報処理専門教育のための環境の整備・拡充
- 既設ネットワークを効果的に活用した情報環境の提供
- 安定的な運転が容易に行えるシステムの構築
- 情報処理技術を用いた教育・実習への支援機能
- キャンパス全域での認証基盤の強化

□平成 23 年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

・教育広報活動

学生対象	(1)共通教育	「大学教育入門セミナー」(計5回)	4/14, 15, 18-20
	(2)共通教育	「総合情報処理」(集中講義)	9/26-29

パンフレット発行 センター利用案内 3月発行(2000部)
(H23年度新入生オリエンテーション時に配付)

ガイダンス	4/4	新入生オリエンテーション(文京)
	4/6	新入生オリエンテーション(松岡)

・研究支援活動

教職員・学生対象	5/19	京都大学スーパーコンピュータ講習会
	参加者数:	教員2名、学生9名、その他3名(総数14名)
	2/27	京都大学スーパーコンピュータの利用説明会
	参加者数:	教員8名、学生5名、その他5名(総数18名)

・教育環境設備の維持

・各種問い合わせに対する対応

・地域支援

公開講座	8/6	知って得する知らないとソンする?パソコン講座 対象:一般市民
------	-----	-----------------------------------

		募集人数：25人　参加者数：22人(申込者数:30人)
教員免許状 更新講習	8/10, 11	情報処理とコンピュータネットワーク 対象：主に福井県内の小中高等学校，特別支援学校教員
		募集人数：40人　参加者数：44人
その他	(1)	情報系NPOボランティア活動への支援 NPO 法人「ルッジふくい」の理事として運営の支援を行う。
(田中専任講師登録)	(2)	I C Tに関する地方自治体への支援
	(3)	e-ネットキャラバンへの支援
	(4)	福井市地域情報化計画策定審議会委員

◇情報ネットワーク運用部門

- ・ネットワーク運用
- ・ネットワーク構成変更
 - 敦賀キャンパス接続
 - 医学図書館情報工房接続
 - 高エネルギー研究所新棟接続
 - 学生支援センター移転中のネットワーク接続
 - 工学3号館無線ネットワークの設置
 - ネットワーク新設（文京 21, 松岡 12）
 - スイッチ追加（文京 25, 松岡 47）
 - 情報コンセント単位の変更(文京 62, 松岡 104)
 - 文京キャンパスに VPN Gateway を設置
- ・ネットワーク機器保守
 - 有線スイッチファームウェア更新(文京 138, 松岡 160)
 - ロット不良によるフロアスイッチ交換（文京 88 台 未完了 45台、松岡 162 台 全対象スイッチ完了）
 - スイッチ故障交換
 - OpenBlockS 600(AC アダプタロット不良による全数交換)
- ・ネットワーク障害対応　　文京4回、 松岡8回
 - 文京
 - 2011/08/11　　停電作業後の GS924M V2障害（5台）
 - 2011/08/12　　停電作業後に GS924M V2が上がってこなかった（10台）
 - 2011/08/12　　附属学校園ネットワーク不通
 - 2012/01/16　　コアスイッチ 2 号機のためのパーツ交換による停止
 - 松岡
 - 2011/05/07　　検査部 UPS エラーによるネットワーク停止
 - 2011/07/03　　中央診療棟停電後障害
 - 2011/08/07　　サイクロトロン UPS エラーによるネットワーク停止
 - 2011/08/12　　DNS 転送経路、地域医療系の障害(松岡分)
 - 2011/08/15　　医学図書館ネットワーク障害
 - 2011/09/09　　DHCP/Radius サーバ障害
 - 2012/01/25　　西病棟4階 UPS エラーによるネットワーク停止
 - 2012/03/02　　ガス漏れによる看宿/保育園/九頭竜会館ネットワーク停止
- ・監視システムの開発、運用
 - 松岡
 - 2011/04/28 より、ネットワーク更新時に導入されたOpenBlockS を用いることで監視拠点の拡大

◇情報セキュリティ管理部門

- ・講習会・講演の実施
 - セキュリティ講演(医療向け)　　1

- セキュリティ講習会(管理者向け) 1
- セキュリティ講習会(入門編) 3
- ・BYOD 対応モニタリング
- ネットワークセキュリティリスク探索(試行)
- (3月から松岡キャンパス出口で試行、5月末から文京で実施予定)

3. 研究開発

- (1)ICカードによる個人認証利用と学内応用に関する研究
- (2)学校現場における情報機器の利活用に関する研究

4. 対外活動

・連絡会議

(1)平成 23 年度北信越・国立大学情報系センター 一会議	H23/5/20	金沢大学総合メディア基盤 センター
(2)第 6 回情報系センター研究・連絡会議及び 第 15 回学術情報処理研究集会	H23/9/15-16	三重大学メディアホール
(3)第 6 回国立大学法人情報系センター長会議 ・意見交換・情報収集	H23/10/21-10/22	ホテルリージュ
(1)SS 研第 33 回通常総会	H23/5/13	東京コンファレンスセンター・品川
(2)第 9 回大学 CIO フォーラム	H23/5/27	六本木アガミビル
(3)SS 研 システム技術分科 2011 年度第 1 回会合	H23/9/9	汐留シティセンター富士通株
(4) I S 研北陸地区ブロック会議	H23/12/20	富士通株北陸支店
(5)第 5 回統合認証シンポジウム	H23/12/22-12/23	佐賀大学
(6)ネットマークスプライベートセミナー	H24/2/22	システムズ 合同会社
(7)FUJITSU ファミリー会 2011 年度支部総会・ 特別講演会	H24/3/12	ホテル日航金沢
(8)平成 23 年度第 3 回学術情報基盤オープン フォーラム	H24/3/19	学術総合センター

□平成 24 年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 情報システム調達

当初の予定では平成24年3月21日までに運用が開始されるはずであったが、納入業者の不手際を主な理由として、切り替えに数回失敗した。

また切り替え後も多くの不具合が発見されたため、最終的な引渡しは平成25年1月1日からとなった。

なお、次期情報システムの更新は平成30年4月1日より運用開始を目指す。

福井大学に対し、納入業者の支払う損害賠償額は、遅延損害金、再リース、人件費等込みで 4,300万弱となる。

2. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

- ・無線 LAN 整備 (補足資料)
- ・新仮想サーバサービスの検討および準備
- ・統一認証実施に向けた他大学の事例調査、機材準備
- ・教育広報活動

学生対象	(1)共通教育	「大学教育入門セミナー」(計5回)	4/23-27
	(1)共通教育	「総合情報処理」(集中講義)	9/24-28
利用ガイド発行	Network 誌利用ガイド号 3月発行(2500部) (H25年度新入生オリエンテーション時に配付)		
パンフレット配布	センター利用案内 3月発行(1000部) (H25年度新入生オリエンテーション時に配付)		

ガイダンス	4/4 4/6	新入生オリエンテーション（文京） 新入生オリエンテーション（松岡）
・研究支援活動 教職員・学生対象	5/31 参加者数：	京都大学スーパーコンピュータ講習会 教員4名、学生21名、その他3名（総数28名）
・教育環境設備の維持 ・各種問い合わせに対する対応 ・学内情報化推進支援 学生支援センター移転、語学センター増床などへの対応		
・地域支援 公開講座	7/28	パーソナルコンピュータ・再入門講座(初級編) 対象：一般市民 募集人数：25人 参加者数：18人
教員免許状 更新講習	8/7,9	情報処理とコンピュータネットワーク 対象：主に福井県内の小中高等学校、特別支援学校教員 募集人数：40人 参加者数：40人

◇情報ネットワーク運用部門

- ・文京、松岡、敦賀キャンパスのネットワーク運用
障害対応

文京キャンパス	34件
松岡キャンパス	11件
- 停電に伴う復旧作業

文京キャンパス	7件
松岡キャンパス	9件
- ファームウェア更新

拠点スイッチ	39式
フロアスイッチ	406台
PoE スイッチ	87台
AP	20台
- VLAN 変更

文京キャンパス	128端子（学生支援センター改修に伴うものを含む）
松岡キャンパス	107端子（総合研究棟(医学系)改修に伴うものを含む）
- ・構成変更
 - 総合研究棟(医学系)改築対応
 - 学生支援センター改修対応
 - 基礎、臨床研究棟 3,5階 拠点場所変更
 - 松岡管理棟ラック交換
 - 松岡エネセン
 - 高エネ研について仮想ルータの変更(病院 → 研究)
 - 松岡キャンパス内文京セグメント設置
 - 敦賀キャンパス環境整備(監視設備設置、無線環境構築)
- ・文京キャンパスネットワークの状態調査

◇情報セキュリティ管理部門

- ・福井大学情報セキュリティポリシーの管理運用

本学の情報通信システムに関連する情報セキュリティに関する運用管理を行い、異常事象の予防及び対応を行ってきた。これらの対応策としての技術的対策について、実施可能な方法を検討している。また、福井大学及び学内部局のセキュリティポリシーの円滑な運用を行うための支援を行ってきた。
- ・セキュリティ講習会開催

- ・新任向けセキュリティ講習 2件 合計約100名
- ・学生向け個人情報保護講習 5件 合計約400名
- ・一般向けセキュリティ講習会 5件 合計約250名
- ・サーバ管理者向けセキュリティ講習会 1件 合計約40名
- ・セキュリティ関係の処理
 - ファイアウォール設定変更作業
 - ・一般利用者ポート開放申請書審査および対応 83件 (年度更新)
 - ・センター関係業務用ポート開放対応 11件
- ・新システム導入関係
 - ・通信設定及び確認 7件
 - ・セキュリティ設定の検証 5件
 - ・windowsサーバの検証支援 7件
 - ・windowsポリシーの検証 19件
 - ・端末の設定検証 4件
- ・その他
 - ・セキュリティ対策としての、ネットワーク上でのモニタリングの導入
 - ・セキュリティ対策未実施PC等のUSBからの緊急対策KITの試験導入

3. 研究開発

- (1) 職員カード及び学生カードのICカード化とマルチアプリケーション利用に関する研究
- (2) 授業利用を前提とした情報機器の利活用に関する研究
- (3) ICTを活用した数学教育の教材開発
- (4) 京都大学のスーパーコンピュータシステムの効率的な利用のための環境構築

4. 対外活動

・連絡会議、定例会議

- | | | |
|---|--------------|--------------|
| (1) SS 研第 34 回通常総会 | H24/5/11 | 汐留シティセンター |
| (1) 第 9 回国立大学法人情報系センター協議会
及び第 7 回国立大学法人情報系センター長懇談
会 | H24/6/29 | 東京学芸大学 |
| (3) 第 7 回情報系センター研究・連絡会議及び第 16
回学術情報処理研究集会 | H24/9/13-14 | 香川大学 |
| (2) 平成 24 年度北信越・国立大学情報系センタ
ー会議 | H24/10/18-19 | 信州大学 松本キャンパス |
| (3) 北陸地域情報ネットワーク(Fitnet)協議
会運営委員会 | H24/10/4 | ガーデンホール(金沢市) |
| (4) 第 24 回情報処理センター等担当者技術
研究会 | H24/11/7-8 | 佐賀大学 |
| (7) I S 研北陸地区ブロック会議
・情報収集、研修等 | H24/12/17 | 富士通(株)北陸支店 |
| (1) 第 10 回大学 CIO フォーラム | H24/6/1 | 六本木アカデミーヒルズ |
| (2) 近畿情報通信講座 | H24/6/27 | キャンパスプラザ京都 |
| (3) Trend Micro セキュリティ最前線 | H24/6/28 | ウインクあいち |
| (1) 平成 24 年度第 1 回学術情報基盤オープン
フォーラム | H24/7/4 | 学術総合センター |
| (5) 名古屋大学 ID 訪問調査 | H24/7/9 | 名古屋大学 |
| (6) 京都大学 ID 訪問調査 | H24/7/19 | 京都大学 |
| (7) 金沢大学 ID 訪問調査 | H24/7/23 | 金沢大学 |
| (8) 佐賀大学 ID 訪問調査 | H24/7/24 | 佐賀大学 |
| (9) 学認 CAMP2012 | H24/9/12 | 香川大学 |
| (10) 情報系意見交換会 | H24/11/12 | 金沢大学 |

(11) 日立文教セミナー2012	H24/11/22	日立製作所九州支社
(12) 第9回東京農工大学総合情報メディア センターシンポジウム 2012	H24/11/30	東京農工大学
(13) 第6回統合認証シンポジウム	H24/12/21	佐賀大学
(14) 平成24年度情報セキュリティセミナー	H25/2/13	文部科学省 講堂
(15) NTT R&D フォーラム 2013	H25/2/15	NTT 武蔵野研究開発 センタ

補足資料

平成24年度における学生無線 LAN 整備について（報告）

1. 主な整備事項

平成24年4月	・ 学内無線 LAN サービスを暫定から正式サービスに移行。 ・ 学内無線サービス利用促進特設サイト開設 ・ 学内無線エリアにステッカー掲示
平成24年5月	・ センター窓口無線拡張要望書を設置 ・ 学生実態調査冊子により無線 LAN 要望状況を改めて確認。
平成24年6月	・ 無線 LAN オンライン申請計画案策定
平成24年7月	・ 工学部1号館、2号館、教育3号館における無線拡張計画書の作成
平成24年8月	・ 附属中学校における無線拡張計画書作成
平成24年9月	・ 工学部1号館における情報コンセント設置
平成24年10月	・ エリア拡張完了「工学部1号館」
平成24年11月	・ 附属中学校と無線設置に関する打ち合わせを実施
平成24年12月	・ 教育3号館、工学2号館における給電装置の確認を実施。 ・ エリア拡張完了「附属中学校」
平成25年1月	・ 工学2号館における情報コンセント工事着手（2月15日完了） ・ 語学センターの無線 AP 設置を検討 ・ 平成24年度無線サービス利用者に継続確認メール実施
平成25年2月	・ 平成24年度無線サービス利用者に第2回継続確認メール実施 ・ 教育3号館における情報コンセント工事実施
平成25年3月	・ エリア拡張完了「敦賀キャンパス」 ・ エリア拡張完了「語学センター」

2. サービス利用者数推移

平成24年度の学内無線サービス利用者数は、教職員利用台数1724台、学生無線について657台。平成25年度は、6月27日現在404台の新規申請がされている。



□平成 25 年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・緊急時情報保護対策検討
2013年7月、山梨大学を訪問しデータ持合いに関する打合せを実施。
- ・統一認証の運用、利用促進
情報セキュリティ管理部門のもと、2014年2月に運用ガイドライン制定。
- ・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
ファイル授受サーバ	メール添付に代わり、500MB までのファイルを安全に授受する。2013 年 12 月運用アナウンス。
ペーパーレス会議	PC、タブレット端末などを使い、会議のペーパーレス化を図る。2014 年 3 月、センター内で運用開始。
新仮想サーバシステム	OS 単位でイメージファイルを作る新システムを学内に用意する。2014 年 3 月、試験システムの構築完了。

- ・ネットワーク情報の再整備
2013年5月末から文京キャンパス、附属学校園で実施。
- ・マイクロソフトからのライセンス調査に対する支援

○定常業務

- ・無線LAN整備
附属小学校への無線AP設置完了。
附属特別支援学校への設置検討。

・教育広報活動

学生対象

- | | | |
|----------|-------------------|---------|
| (1) 共通教育 | 「大学教育入門セミナー」(計5回) | 4/22-26 |
| (2) 共通教育 | 「総合情報処理」(集中講義) | 9/24-27 |

利用ガイド増刷

NETWORK誌利用ガイド号 3月発行(600部)
(H26年度新入生オリエンテーション時に配付)

パンフレット配布

センター利用案内 3月発行 (1500部)

(H26年度新入生オリエンテーション時に配付)

ガイダンス

4/4 新入生オリエンテーション (文京)

4/6 新入生オリエンテーション (松岡)

・研究支援活動

教職員・学生対象 5/16 京都大学スーパーコンピュータ講習会

参加者数： 教員4名、学生16名、その他1名 (総数21名)

・教育環境設備の維持

・医学図書館購読の電子ジャーナル、データベース閲覧方法の改善対応

・各種問い合わせに対する対応

・学内情報化推進支援

特別支援学校改修、工学系移転、語学センター増床などへの対応

、松岡キャンパス学会用VPN機器設置

・地域支援

公開講座 7/27 パーソナルコンピュータ・再入門講座(初級編)

対象：一般市民

募集人数：25人 参加者数：25人

教員免許状 8/12,13 情報処理とコンピュータネットワーク

更新講習 対象：主に福井県内の小中高等学校, 特別支援学校教員

募集人数：40人 参加者数：40人

◇情報ネットワーク運用部門

運用に関する内容

松岡キャンパス分

loop解除 7件

NW障害対応 24件

NW構成変更・VLAN変更 71件

端子発番 3310個

visitor関連作業/障害対応 10件

電源まわり関連作業/障害対応 10件

キャンパス 間作業/障害対応 13件

AP・無線作業/障害対応 13件

停電対応 9件

NW機器交換・端子測定・確認 18件

その他 5件

文京キャンパス分

2013/8/23 特別支援学校移転に伴う機材撤去、NW設定作業

2013/10/10 工学系4号館東棟 拠点一時移転作業

2014/3/7 工学系2号館新実験棟 NW設定作業 (ユニアデックス)

2014/3/25 附属小学校無線AP設置作業

2014/3/26 工学系4号館東棟 拠点戻し作業

ファームウェア更新

7機種 138台

◇情報セキュリティ管理部門

○福井大学情報セキュリティポリシーの運用・管理

本学の情報通信システムに関連する情報セキュリティに関する運用管理を行い、異常事象の予防及び対応を行ってきた。

学内において異常事象やインシデントの発生があったが、これらの対応を行うとともに、今後の課題を検討している。

これらの対応策とともに、実施可能な予防措置や技術的対策を検討している。

これらと併せて、福井大学及び学内部局のセキュリティポリシーの運用に関連する支援を行ってきた。

○講習会等の実施

- | | | |
|--------------------|-----------------------------|---------|
| ・新任向けセキュリティ講習(松岡) | 4/3, 4/8 | 合計約150名 |
| ・学生向け個人情報保護講習(松岡) | 4/6, 7/22, 12/9, 1/15, 1/31 | 合計約400名 |
| ・一般向けセキュリティ講習会(全学) | 2/20 | 合計約150名 |

○セキュリティ関連処理

- ・ファイアウォール変更処理
- ・ウイルス感染対策
- ・マイクロソフトライセンス調査対応
- ・WindowsXP期限切れ対応

2. 対外活動

・連絡会議・定例会議

- | | | |
|---|------------|-------------|
| (1)サイバーテック・システム研究会第35回通常総会 | H25/5/10 | 汐留シティセンター |
| (2)第11回大学CIOフォーラム | H25/5/31 | 品川フロントビル |
| (3)平成25年度北信越・国立大学情報系センター会議 | H25/5/31 | 富山大学 |
| (4)平成25年度北陸地域情報ネットワーク協議会総会 | H25/6/21 | アパホテル金沢駅前 |
| (5)第25回情報処理センター等担当者技術研究会 | H25/8/29-3 | 鳥取大学米子キャンパス |
| (6)第10回国立大学法人情報系センター協議会、
センター長懇談会、
第8回国立大学法人情報系センター研究集会、
および第17回学術情報処理研究集会 | H25/9/9-10 | 千葉大学 |
| (7)第7回統合認証シンポジウム | H25/12/6 | 佐賀大学 |
| (8)IPネットワーク連絡会および第22回NCA5総会 | H25/12/16 | 京都大学 |
| (9)IS研北陸地区ブロック会議 | H26/1/8 | 富士通(株)北陸支店 |

・情報収集・研修等

- | | | |
|--|-------------|-------------|
| (1)ホームページ制作基礎(XHTML&CSS編) | H25/5/21-22 | 福井県産業支援センター |
| (2)データベース入門 | H25/5/28-29 | 福井県産業支援センター |
| (3)緊急時情報保護対策に関する打合せ | H25/7/18 | 山梨大学 |
| (4)国立大学法人等最高情報セキュリティ責任者会議 | H25/12/9 | 文部科学省 |
| (5)平成25年度情報セキュリティセミナー | H26/2/21 | 文部科学省 |
| (6)マイクロソフトライセンス調査に関する情報交換
(鳥取大学メディア基盤センター教職員来訪) | H26/3/3 | 福井大学 |

□平成26年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・緊急時情報保護対策検討
学内情報の集約に関して情報収集及び検討中。
- ・統一認証の運用、利用促進
現在、複数の業務系システムで利用されており、更なる安定運用を目指し改善を行いたい。
- ・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
新仮想サーバシステム	ユーザに試験的提供を行い、運用ノウハウを蓄積中。

ペーパーレス会議	センター内での会議のペーパーレス化を実現済み。学内にも展開する準備を進めたい。
ホスティングシステム	システム性能に不安定な面が見られるため十分に進んでいないが、実現に向け対処中。
ホスト管理システム	必要なデータが揃っていないが、実現に向けた動きを進めたい。
学認への参加	2014 年度中に準備を整え、2015.4 にサービス開始。

- ・次期SINETへの対応による回線変更

SINET4 での増速、及びSINET5 への実現に向け、現在業者との調整を進めている。

- ・文京－松岡キャンパス間ネットワークの増速

2015 年度中に実施予定。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・Webページの充実
- ・教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」(計5回)	学生	4/21-25
共通教育「情報処理基礎」(1/2 コマ、10 クラス)	学生	5 月
共通教育「総合情報処理」(集中講義)	学生	9/22, 24-26
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	5/21
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/3(文京)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	9/30, 2015/3/31

- ・教育環境設備の維持

- ・NETWORK誌利用ガイド号改訂

改定を行い、2015/3 に発行済み、オリエンテーション時に 1,500 部配布。

- ・計算機システム利用支援
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡
- ・学内情報化推進支援

特別支援学校校舎改修に伴うネットワーク整備支援(2014. 7)

附属小学校改修に伴うネットワーク整備支援(2014. 11)

教育系 3 号館無線AP設置(2015. 2)

- ・地域支援

項目	備考	開催時期
「情報処理とコンピュータネットワーク」 1 回 6 時間・2 回講習 対象：教 諭 ・ 養護教諭 ・ 栄養教諭	教員免許状 更新講習	8/11-12
「パーソナルコンピュータ・再入門講座(初級編)」 対象：一般市民、無料	公開講座	7/26

◇情報ネットワーク運用部門

○運用に関する内容

作業内容	文京	松岡	敦賀	附属学校 園	キャンパ ス間	合計
NW 機器交換	161	467	15	2	0	645
NW 機器設置	4	44	1	2	0	51
NW 機器設定	72	25	0	0	0	97
NW 機器撤去	2	32	0	1	0	35
NW 障害対応 (内 電源障害対応)	6	38 (14)	3	3	2	52
NW 運用作業	12	42	0	2	1	57
NW 接続確認	9	21	0	1	0	31

NW 設定変更	0	27	0	0	0	27
VLAN 変更	49	261	2	1	0	313
端子発番	13	7233	0	80	0	7326
Loop 解除	13	7	3	0	0	23
合計	341	8197	24	92	3	8657

○ファームウェア更新作業

- ・全拠点スイッチ (7式)
- ・サーバ収容スイッチ (39式)
- ・フロアスイッチ (429台)

○監視システムの改善

- ・附属学校園を含む、全学のスイッチの死活監視
- ・拠点への通信可否の常時監視
- ・拠点の温湿度監視

◇情報セキュリティ管理部門

○福井大学情報セキュリティポリシーの運用・管理

本学の情報通信システムに関連する情報セキュリティに関する運用管理を行い、異常事象の予防及び対応を行ってきた。また、学内において異常事象やインシデントの発生があったが、これらの対応を行ってきた。

これらの事象に対する対応策とともに、実施可能な予防措置や技術的対策を検討している。

セミナーについては電子化 (e-learning等) としての対応を進めている。

○講習会等の実施

- ・新任向けセキュリティ講習 4/2, 4/4, 4/8 合計約150名

※一般向けe-learningの講習はコンテンツ作成遅延のため未実施

○セキュリティ関連処理

- ・ファイアウォール変更処理
- ・ウイルス感染対策
- ・マイクロソフトライセンス調査対応

2. 対外活動

・連絡会議・定例会議

(1)平成 26 年度北信越・国立大学情報系センター会議 H26/5/19 石川県政記念いのき迎賓館

(2)第 11 回国立大学法人情報系センター協議会総会 H26/6/26-27 新潟大学

(3)第 26 回情報処理センター等担当者技術研究会 H26/8/28-29 国立大学法人電気通信大学

(4)第 9 回国立大学法人情報系センター研究集会および

第 18 回学術情報処理研究集会 H26/9/25-26 信州大学

(5)第 27 回情報センター等担当者技術研究会実行委員会 H26/11/7 岐阜大学

(6)2014 年度北陸地区(国公立)大学情報システム研究会 H27/1/7 富士通株式会社北陸支社

(7)第 8 回統合認証シンポジウム H27/1/23-24 佐賀大学

(8)国立大学法人等最高情報セキュリティ責任者会議 H27/2/26-27 一橋大学

(9)大学等におけるクラウドサービス利用

シンポジウム 2015 H27/3/20 広島大学

(10)IP ネットワーク連絡会及び第 23 回 NCA5 総会 H27/3/23 京都大学

・情報収集・研修等

(1)平成 27 年度概算要求事項事前相談 H26/6/24 文部科学省

(2)SINET5 第 1 期アクセス回線共同調達説明 H26/7/22 学術総合センター

(3)FLUKE networks テクニカルセミナー H26/8/6 名駅 ABC ビル

(4)情報セキュリティセミナー H27/2/26-27 一橋大学

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・緊急時情報保護対策
学内情報の集約に関して情報収集を行った。
- ・統一認証の運用、利用促進
現在、複数の業務系システムで利用されており、更なる安定運用を目指し改善を進めた。
- ・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
新仮想サーバシステム	ユーザに試験的提供を行い、運用ノウハウを蓄積中。
ペーパーレス会議	センター内での会議のペーパーレス化を実現済み。学内にも展開する準備を進めた。
ホスティングシステム	システム性能に不安定な面が見られるため十分に進んでいないが、実現に向け対処した。
ホスト管理システム	必要なデータが揃っていないが、実現に向けた動きを進めた。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・Webページの充実
- ・教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」(計5回)	学生	4/21-24, 27
共通教育「情報処理基礎」(1/2 コマ、10 クラス)	学生	5 月
共通教育「総合情報処理」(集中講義)	学生	9/24-25, 28-30
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	5/21
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/3(文京)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	9/30

- ・教育環境設備の維持
- ・計算機システム利用支援
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡
- ・学内情報化推進支援
附属小中学校改修に伴うネットワーク整備支援(2015 年度を通して継続的)
- ・NETWORK誌利用ガイド号
オリエンテーション時に 1,500 部配布
- ・地域貢献

項目	備考	開催時期
「情報処理とコンピュータネットワーク」 1 回 6 時間・2 回講習 対象：教 諭 ・ 養護教諭 ・ 栄養教諭	教員免許状 更新講習	8/9-11 (11 日は「超入門」)
「パーソナルコンピュータ・再入門講座(初級編)」 対象：一般市民、無料	公開講座	8/1

◇情報ネットワーク運用部門

○松岡キャンパスネットワーク室移転

○構成変更

- ・VLAN 変更 122件 (文京 31件、松岡 91件)
- ・NW 構成変更・確認 46件 (文京 15件、松岡 31件)
- ・端子発番、接続、確認 1072件 (松岡 1072件)

○病院再整備への対応

- ・再整備対応 13拠点
- 障害対応
 - ・B 病棟水蒸気事故
 - ・ループ等への対応等 15件（文京 5件、松岡 10件）
 - ・その他の障害対応 13件（文京 3件、松岡 10件）
- 敦賀キャンパス無線 LAN 導入支援
- 二の宮キャンパス無線 LAN 導入支援
- SINET 切り替え
 - ・SINET5への実現に向け、業者との調整を進め2016年2月19日に切り替え完了。
- 文京－松岡キャンパス間ネットワークの増速
 - ・2015年10月に4G→10Gへの増速完了。
- キャンパスネットワーク更新
- 運用監視システム更新
 - ・監視拠点更新
 - ・モニタ端末増設
- 技術職員獲得交渉

◇情報セキュリティ管理部門

- 福井大学情報セキュリティポリシーの運用・管理

本学の情報通信システムに関連する情報セキュリティに関する運用管理を行い、異常事象の予防及び対応を行ってきた。また、学内において異常事象やインシデントの発生があったが、これらの対応を行ってきた。

これらの事象に対する対応策とともに、実施可能な予防措置や技術的対策を検討している。

セミナーについては電子化（e-learning等）としての対応を進めている。
- 講習会等の実施

・新任向けセキュリティ講習	4/2, 4/3, 4/5	合計約150名
---------------	---------------	---------
- 一般向けe-learningの講習環境の整備

※コンテンツは作成中
- ICカード発行システムの更新
 - ・テスト運用環境から本運用環境へ変更
- セキュリティ関連処理
 - ・ファイアウォール変更処理
 - ・ウイルス感染対策
- 学内セキュリティ事案対応
 - ・内部拡散及び踏み台への対応

2. 対外活動

・連絡会議・定例会議

- | | | |
|---|----------|-----------|
| (1)平成 27 年度北信越・国立大学情報系センター会議 | H27/5/20 | 上越教育大学 |
| (2)サイエンティフィック研究会(SS研)総会 | H27/5/22 | 富士通株式会社本社 |
| (3)第 12 回国立大学法人情報系センター協議会総会 | | |
| ・第 12 回センター長懇談会・第 10 回国立大学法人情報系センター研究集会 | | |

H27/7/2 岐阜大学

- | | | |
|--------------------------------|----------|-------------|
| (4)第 7 回情報戦略フォーラム | H27/8/4 | 富士通株式会社本社 |
| (5)第 27 回情報処理センター等担当者技術研究会 | H27/9/10 | 岐阜大学 |
| (6)第 19 回学術情報処理研究集会 | H27/9/28 | 豊橋技術科学大学 |
| (7)2015 年度北陸地区(国公立)大学情報システム研究会 | H28/1/26 | 富士通株式会社北陸支社 |

□平成28年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・統一認証の運用、利用促進

現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指し下記に示す新サービスの展開を行った。

- ・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
学内向け Web シングルサインオンシステム	学内の各 web システム間でユーザ管理についての調整が必要であり、サービスの展開は進んでいない。
統一認証アカウント連携 GoogleApps 利用	統一認証を利用して、ユーザ申請時に学内アカウントの他に Google アカウントも利用可能となった。
ファイルホスティングシステム	教職員、学生のデータ保存用として Z ドライブの提供を行った。

- ・次期SINETへの対応による回線変更

2016 年 4 月 よりSINET5 の運用が開始された。本学とデータセンターを繋ぐ回線としてSINET4 からSINET5 へ回線変更を行った。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・Webページの充実
- ・教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」(計5回)	学生	4/21, 22, 25-27
共通教育「総合情報処理」(集中講義)	学生	9/26-30
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	5/26
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/4(文京)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	9/27

- ・教育環境設備の維持
- ・計算機システム利用支援
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡
- ・地域支援

項目	備考	開催時期
「情報処理再入門と情報モラル(超入門)」1 回 6 時間 「情報処理再入門と情報モラル」1 回 6 時間・2 回講習 対象：教 諭 ・ 養護教諭 ・ 栄養教諭	教員免許状更新講習	7/31 8/6, 10
「パーソナルコンピュータ・再入門講座(初級編)」 対象：一般市民, 無料	公開講座	7/23

◇情報ネットワーク運用部門

○構成変更

- ・VLAN 変更 539件(文京 58件、松岡 451件)
- ・NW 構成変更・確認 73件(文京 12件、松岡 61件)
- ・端子発番、接続、確認 1072件(松岡 1072件)

○病院再整備への対応

- ・拠点増設 9拠点
- ・病院内ネットワーク更新(院内全域)

○障害対応 29件(文京 6件、松岡 23件)

○無線LAN システム更新前事前評価(7社)

- ネットワーク運用管理支援システム整備/改良
- 運用監視システム運用維持
 - ・モニタ端末増設

◇情報セキュリティ管理部門

- 福井大学情報セキュリティポリシー等の運用・管理・対応
 - 全学セキュリティ委員会の開催を行った。
 - 本省より大学のセキュリティ強化に対応した運用方法の構築と報告を行った。
 - 本省からのセキュリティ強化に向けての対応を準備した。
 - CSERT運用体制の支援を行った。
- セミナーのための電子化（e-learning等）用サーバの構築を行った。
 - （コンテンツは作成中）
- 講習会等の実施
 - ・新任向けセキュリティ講習 4/6,7 合計約150名
- ICカード発行システムの追加
 - 学生等の一斉変更への対応（松岡）
- セキュリティ関連処理
 - ・ファイアウォール変更処理
 - ・ウイルス感染対策
- 学内セキュリティ事案対応
 - ・外部からの指摘事項への対応

2. 対外活動

- | | | |
|---------------------------------|--------------|-------------------------|
| (1)平成28年度北信越・国立大学情報系センター会議 | H28/5/27 | まちなかキャンパス長岡(長岡市) |
| (2) 2016年度第1回IS研世話人会 | H28/6/9 | フクラシア浜松町(浜松市) |
| (3)平成28年度情報系センター協議会総会 | H28/6/24 | 京都工芸繊維大学 |
| (4)平成28年度国立大学法人等最高情報セキュリティ責任者会議 | H28/6/29 | 一橋大学一橋講堂 |
| (5) FUJITSUファミリ会2016秋季大会 | H28/11/10 | ホテル日航金沢(金沢市) |
| (6)文部科学省関係機関等最高情報セキュリティ責任者会議 | H28/11/18 | 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京) |
| (7)第36回医療情報学連合大会 | H28/11/21-24 | パシフィコ横浜 |
| (8)第25回NCA5総会 | H28/11/30 | キャンパスプラザ京都 |
| (9)平成28年度SINET・学術情報基盤サービス説明会 | H28/12/22 | ナレッジキャピタルカンファレンスルーム(大阪) |
| (10)第25回国公立大学情報システム研究会総会 | H29/2/21-22 | 富士通関西システムラボラトリ(大阪) |
| (11)平成28年度文部科学省情報セキュリティセミナー | H29/2/27 | 一橋大学一橋講堂 |
| (12)第10回統合認証シンポジウム | H29/2/28 | 佐賀大学 |
| (13)大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム | H29/3/10 | 広島大学東千田未来創生センター |
| (14)サービスポータル(警報情報閲覧サイト)の操作研修 | H29/3/15 | 国立情報学研究所(東京) |

□平成29年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・統一認証の運用、利用促進

現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指し下記に示す新サービスの展開を行った。

- ・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
学内向け Web シングルサインオンシステム	学内の各 web システム間でユーザ管理についての調整が必要であり、サービスの展開は進んでいない。
統一認証アカウント連携 GoogleApps 利用	統一認証を利用して、ユーザ申請時に学内アカウントの他に Google アカウントも利用可能となった。
ファイルホスティングシステム	教職員、学生のデータ保存用として Z ドライブの提供を行った。
利用状況の確認	演習室の利用状況を個人の端末から確認できるサービスを導入し、センター入口にデジタルサイネージを設置し、確認できるようにした。

- ・情報システムの更新

2018 年 3 月に情報システムの更新を行った。統一認証システム、メールシステム、ファイルサーバ、Webサーバ等のシステムが更新され、新システムに移行した。

- ・大分大学学術情報拠点情報基盤センター・福井大学情報基盤センター間における災害時の連携・協力に関する協定書の締結

大分大学学術情報拠点情報基盤センターと災害時における連携や協力を行うための協定書を締結した。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・Webページの充実
- ・教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」(計5回)	学生	4/21, 24-27
共通教育「総合情報処理(コンピュータと情報処理)」(集中講義)	学生	9/26-29
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	5/25
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/4(文京)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	4/2(文京) 9/28(文京)

- ・教育環境設備の維持
- ・計算機システム利用支援
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡
- ・地域支援

項目	備考	開催時期
「情報処理再入門と情報モラル(超入門編)」 「情報処理再入門と情報モラル(入門編)」 「情報処理と I C T 活用指導」 各 6 時間 対象：教 諭 ・ 養護教諭 ・ 栄養教諭	教員免許状更新講習	7/30 8/7 8/9
「一歩進んだパーソナルコンピュータ利用講座」 対象：一般市民，無料	公開講座	8/5

◇情報ネットワーク運用部門

○構成変更

- ・VLAN 変更 51件（文京 15件、松岡 36件）
- ・NW 構成変更、確認 101件（文京 28件、松岡 73件）
- ・端子発番、接続、確認

○病院再整備への対応

○全学無線 LAN システム更新

○障害対応

- ・40件（文京18件、松岡22件）

○ネットワーク運用管理支援システム整備／改良

○運用監視システム運用維持

- ・監視端末耐障害性向上対策(OS 入替)
- ・故障機交換
- ・監視元サーバディスク増設

◇情報セキュリティ管理部門

○福井大学の情報セキュリティ等の運用・管理・対応

CSIRT運用としての学内事案対応を行った。

外部の不正通信のモニタリングでの検知事案に対しての対応を行った。

本省より大学のセキュリティ強化に対応した運用方法の構築と報告を行った。

本省から例示のあったセキュリティ強化に向けての対応を実施した。

○セミナーのための電子化（e-learning等）用サーバの構築を行った。

（コンテンツは本年度講習会分を準備。利用者登録が遅延している）

○講習会等の実施

- ・新任向けセキュリティ講習・個人情報保護講習

4/4,5 合計約 150 名（松岡C）

- ・構成員向け講習会の実施

10/18 263 名、1/18 114 名、1/23 124 名。

○ICカード発行システムの整備

全学向けのシステム変更を行った。

○セキュリティ関連処理

- ・ファイアウォール変更処理
- ・ウイルス感染対策

○学内セキュリティ事案対応

- ・内部でのウイルス感染への対応
- ・外部からの指摘事項への対応

□平成30年度 総合情報基盤センター事業報告

1. 部門別活動報告

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・統一認証の運用、利用促進

現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指し下記に示す新サービスの展開を行った。

- ・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
学内向けWebシングルサインオンシステム	学内の各webシステム間でユーザ管理についての調整が必要であり、サービスの展開は進んでいない。
統一認証アカウント連携GoogleG Suite利用	統一認証を利用して、ユーザ申請時に学内アカウントの他にGoogleアカウントも利用可能となり、試験

	的に運用を行っている。全学的サービスに広げることを目指し、権限等に関する議論を始めた。
ファイルホスティングシステム	教職員、学生のデータ保存用としてZドライブの提供を行った。ファイルサーバの容量確保、一部のユーザによる使いすぎを防ぐため、クォータの設定を行い運用した。
利用状況の確認	演習室の利用状況を個人の端末から確認できるサービスを導入し、センター入口にデジタルサイネージを設置し、確認できるようにした。また、センターHPから利用確認できるClassViewシステムを整備した。
eduroamへの参加	国際的に相互利用が可能なローミングサービスとしてeduroamの導入を進めた。サービス開始ができる状態である。
proxyサービス	文京キャンパスのproxyサーバの整備を行い、全学においてproxyサーバを経由したWeb等の通信が行えるようになった。
学生無線LAN申請システムの整備	学生無線LANの利用申請において、MACアドレスなどの情報をシステムに登録し、申請書が印刷できるシステムを導入した。

・情報システムの更新後の運用

2018年3月に更新した新しい情報システムの運用を行った。統一認証システム、メールシステム、ファイルサーバ、Webサーバ等のシステムの安定運用に努めた。また、離学処理システムが稼働し、離学したユーザ（教職員、学生など）をシステム利用から削除、無効化などを行う作業が一括で行えるようになった。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・Webページの充実
- ・教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」(計5回)	学生	4/23-27
共通教育「総合情報処理(コンピュータと情報処理)」(集中講義)	学生	9/25-28
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	5/24
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/4(文京)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	4/2(文京) 9/25(文京)

・教育環境設備の維持

利用教員からの要望に応じて、演習室PCのソフトウェアの整備を行った。

- ・計算機システム利用支援（京都大学スパコン利用）
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡
- ・地域支援

項目	備考	開催時期
「情報処理再入門と情報モラル」(2回) 「情報処理とICT活用指導」 各6時間 対象：教諭・養護教諭・栄養教諭・講師	教員免許状更新講習	7/29, 8/5 8/12
「最新PC活用講座」 対象：一般市民、無料	公開講座	7/21

- 工事への対応
 - ・松岡キャンパス臨床研究棟耐震工事
 - ・二の宮中央棟新築工事
 - ・キャンパス間接続回線借用（回線事業者によるもの）
 - ・その他
- 学会無線サービス（文京 4件、松岡 1件）
- eduroam 環境構築支援
- 全学への proxy 導入支援
- 医学図書館 AP 追加
- 障害対応
 - ・スイッチ故障(松岡 16台)
 - ・AP 故障（文京 1台）
 - ・無線通信不具合の調査/対応（松岡）
 - ・キャンパス無線障害への対応（松岡研究系 2回）
 - ・Visitor サービス（松岡 4回）
 - ・Loop 対応（文京 11件、松岡 3件）
- 構成変更
 - ・VLAN 設定変更（文京 21件、松岡 13件）
 - ・無線 LAN コントローラ ファームウェア更新（松岡）
 - ・Proxy ファームウェア更新
- ネットワーク運用管理支援システム改良
 - ・端末更新
 - ・システム改善（監視対象サービスの追加、インターフェースの修正）
- NII-socs からの通報端末の抽出(文京、松岡の一部)

◇情報セキュリティ管理部門

- 福井大学情報セキュリティ対応関係
 - ・本省から求められているセキュリティ調査報告対応
 - ・CSIRTの運用準備
 - ・全学セキュリティ委員会の開催
- 講習会等の実施
 - ・本省への報告対象講習の実施
（新任向けセキュリティ・個人情報保護講習）
 - ・e-learning での理解度調査実施
- 学内安全対策
 - ・本省から求められているセキュリティ強化への対応
 - ・外部からの通報事案への対応
 - ・不正プログラム対策未実施機器でのUSB型検知装置での不正プログラムへの対応
 - ・附属病院のICカード対応と初期化端末整備

□令和元年度 総合情報基盤センター事業報告

◇情報サービス推進部門

- 重点項目
 - ・統一認証の運用、利用促進
現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指し下記に示す新サービスの展開を行った。
 - ・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
----	----

学内向け Web シングルサインオンシステム	学内の各 web システム間でユーザ管理についての調整が必要であり、サービスの展開は進んでいない。
統一認証アカウント連携 Google G Suite 利用の推進	Google G Suite for Education のグループ運用の権限等を整理し、全学的サービスに広げた。また、学生にも利用を拡充した。
ファイルホスティングシステム	教職員、学生のデータ保存用として Z ドライブの提供を行った。ファイルサーバの容量確保、一部のユーザによる使いすぎを防ぐため、クォータの設定を行い、適切な運用につとめた。
eduroam の運用開始	国際的に相互利用が可能なローミングサービスとして eduroam の導入を進め、サービス開始を開始した。
proxy サービス	文京キャンパスの proxy サーバの整備を行い、全学において Web 等の通信に対し proxy サーバを経由する運用を行った。
ホスト未登録端末の監視システムの導入	ホスト登録がされていない端末の不正接続を監視するシステム NetSkateKoban を整備し、運用を行った。
Web メールシステムの二段階認証の導入	Web メールシステムのセキュリティ対策として二段階認証システムを導入した。
IC Card 初期化端末の導入	職員証と学生証に対応する IC Card 初期化端末を整備し、図書館と教務課に設置した。

・情報システムの更新後の運用

2018 年 3 月に更新した新しい情報システムの運用を行った。統一認証システム、メールシステム、ファイルサーバ、Webサーバ等のシステムの安定運用に努めた。また、離学処理システムが稼働させ、離学したユーザ（教職員、学生など）のシステム利用から削除、無効化などの処理を定期的に行うようにした。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・Webページの充実
- ・教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」(計5回)	学生	4/22-26
共通教育「総合情報処理(コンピュータと情報処理)」(集中講義) 2回開講	学生 (受講者希望が多かったため、後期に分散集中で2回目を開講)	1 回目: 9/24-27 2 回目: 11/24 から 12/26 の間で5日間
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	5/23
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/4(文京)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	4/1(文京) 9/24(文京)

・教育環境設備の維持

利用教員からの要望に応じて、演習室PCのソフトウェアの整備を行った。

- ・計算機システム利用支援（京都大学スパコン利用）
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡
- ・災害等の緊急事態発生時のサービス継続、早期復旧対策

6 月 21 日発生した落雷停電への対応

大分大学とのBCP協定においてDNSデータを相互にバックアップする体制を整備

・地域支援

項目	備考	開催時期
「情報処理再入門と情報モラル」(2回) 「情報処理とICT活用指導」 各6時間 対象：教諭・養護教諭・栄養教諭・講師	教員免許状更新講習	7/28, 8/4 8/19
「Windows10とMS-Office 2016, モラルとセキュリティを基礎・基本から学ぶ講座」 対象：一般市民, 無料	公開講座	7/20

◇情報ネットワーク運用部門

○工事への対応

- ・松岡キャンパス臨床研究棟耐震工事
- ・その他

○障害対応

- ・スイッチ故障（松岡：12台
文京：3台）
- ・AP故障（敦賀1台）
- ・キャンパス無線LAN障害への対応（松岡研究系2回）
- ・無線通信不具合の調査／対応（松岡）
- ・落雷によるネットワーク障害への対応（文京）
- ・Visitorサービス不具合（松岡5回）
- ・proxy応答悪化（松岡2回）
- ・LOOP対応（文京17件、松岡1件）

○構成変更

- ・VLAN設定変更（文京26件、松岡5件）
- ・無線LANコントローラファームウェア更新（松岡2回）

○ネットワーク運用管理支援システムの改良

- ・visitorサーバ更新
- ・システム改善（監視対象サービスの追加、インタフェースの修正）
- ・相互接続情報の収集/管理

○NII-socsからの通報端末の抽出（文京、松岡の一部）

◇情報セキュリティ管理部門

○福井大学全学情報セキュリティ対応関係

- ・本省から求められているセキュリティ調査報告対応
- ・CSIRTの運用準備
- ・全学セキュリティ委員会の開催
第19回:7月29日
第20回:9月5日
第21回:3月16日

○講習会等の実施

- ・本省への報告対象講習の実施
(新任向けセキュリティ・個人情報保護講習：4月第1週～1週)
- ・e-learningでのセキュリティ講習及び理解度調査実施（教職員）：3月3日～3月23日
- ・e-learningでのセキュリティ講習及び自己チェックの実施（医学部一部学年）
：3月1日～(次年度)4月20日
- ・e-learning用コンテンツの制作
- ・セキュリティ講習会の実施（松岡地区）：12月3日

○学内安全対策

- ・重要情報機器のICカード対応（医学部附属病院2期目対応）
- ・附属病院における2要素認証の拡充
- ・本省から求められているセキュリティ確認と対応
 - 5月24日 大学等におけるサイバーセキュリティ対策等の強化について（通知）
 - 6月24日 大学・研究機関等を標的とした高度サイバー攻撃(APT)について
 - 9月10日 VPN製品の脆弱性及びウイルスバスターの脆弱性について
- ・NII-SOCS警報 59件
- ・重要情報取り扱い用分離環境の試行
- ・不正プログラム対策未実施機器でのUSB型検知装置での不正プログラムへの対応の拡充（文京地区）
- ・セキュリティ訓練の実施（標的型メール訓練）1回目:12月 2回目:2月

□令和2年度 総合情報基盤センター事業報告

○教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」（計5回）	学生 遠隔授業（オンデマンド）用のコンテンツ提供	5/25-30
共通教育「コンピュータと情報処理」（集中講義）	学生	9月集中(前期開講分) →対面授業開講禁止により中止 10-12月分散集中(後期開講分) →対面授業開講禁止により延期 3月集中(分散集中で開講できなかったため) →対面授業開講禁止により中止
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	中止
新入生オリエンテーション	ガイダンスが中止になり、ガイダンス用資料を配布	4月(文京)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	中止（2回）

○地域支援

項目	備考	開催時期
「ICT活用と情報モラル（初級編）」（2回） 「ICT活用と情報モラル（中級編）」 各6時間 対象：教諭・養護教諭・栄養教諭・講師	教員免許状更新講習	初級：7/26, 8/2(延期)→10/18 中級：8/17
「Windows10とMS-Office 2016, モラルとセキュリティを基礎・基本から学ぶ講座」 対象：一般市民、無料	公開講座	対面禁止，オンライン開催困難により，中止

○緊急事態時の対応策

- ・新型コロナウイルスの対応
 - 遠隔授業支援，端末室の消毒等
- ・災害等の緊急事態発生時のサービス継続，早期復旧対策
 - 大分大学とのBCP協定においてDNSデータを相互にバックアップする体制の運用

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・統一認証の運用、利用促進

現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指した。システムの改修等を行い、データ整合性の維持に努めた。

・学内向け新ネットワークサービスの展開

項目	概要
学内向け Web シングルサインオンシステム	学内の各 web システム間でユーザ管理についての調整が必要であり、サービスの展開は進んでいない。
Webex の導入と運用	Web 会議や遠隔授業の利用を目的に、Webex を導入した。また教務課と連携して、有償ライセンスを購入し、運用を行った。
Google G Suite 利用の推進と支援	遠隔授業を行うにあたり、Google G Suite for Education の利用を推進した。グループの作成、Classroom の教員権限の付与、Meet の運用などを行い、ユーザの対応も行った。
ファイルホスティングシステム	教職員、学生のデータ保存用として Z ドライブの提供を行った。ファイルサーバの容量確保、一部のユーザによる使いすぎを防ぐため、クォータの設定を行い、適切な運用につとめた。
eduroam の運用	国際的に相互利用が可能なローミングサービスとして eduroam の運用を行った。
proxy サービス	全学において Web 等の通信に対し proxy サーバを経由する運用を行った。
ホスト未登録端末の監視システムの運用	ホスト登録がされていない端末の不正接続を監視するシステム NetSkateKoban の運用を行った。
二段階認証の導入	学外から統一認証システムを利用に対して、二段階認証システムを導入した。
IC Card 初期化端末の導入	職員証と学生証に対応する IC Card 初期化端末を整備した。

・情報システムの更新後の運用

2018年3月に更新した新しい情報システムの運用を行った。統一認証システム、メールシステム、ファイルサーバ、Webサーバ等のシステムの安定運用に努めた。また、離学処理システムが稼働させ、離学したユーザ（教職員、学生など）のシステム利用から削除、無効化などの処理を定期的に行っている。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・Webページの充実
- ・教育環境設備の維持
 - 利用教員からの要望に応じて、演習室PCのソフトウェアの整備を行った。
- ・計算機システム利用支援（京都大学スパコン利用）
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡

◇情報ネットワーク運用部門

- 工事への対応
 - 松岡生物資源棟改築工事
 - 八ツ島のぞみの家改築工事
- 障害対応
 - スイッチ故障（松岡：8台、文京：なし）
 - キャンパス無線LAN障害への対応（松岡病院系2回、文京1回）
 - 無線通信不具合の調査／対応（松岡）
 - VPN 不調（松岡 5回、文京2回）
 - キャンパス間接続装置交換（敦賀 1回）
 - AP停止（敦賀1台）

- LOOP対応（文京24件、松岡3件）
- 構成変更
 - 対外接続(SINET)冗長化
 - 松岡キャンパス研究系無線検証
 - VLAN設定変更（文京31件、松岡50件）
- ネットワーク運用管理支援システムの改良
 - システム改善（監視対象サービスの追加、インタフェースの修正）
 - 相互接続情報の収集/管理
- NII-socsからの通報端末の抽出（文京、松岡の一部）

◇情報セキュリティ管理部門

○福井大学全学情報セキュリティ対応関係

- ・全学セキュリティ委員会の開催
 - 第22回：4月21日（メール審議）
 - 第23回：7月29日
 - 第24回：12月24日
 - 第25回：3月18日
 - 第26回：3月23日（メール審議）

○講習会等の実施

- ・教職員対象情報セキュリティ研修会（対面、Web）：9月30日
- ・e-learningでのセキュリティ研修（教職員）：11月17日～1月29日
- ・e-learningでのセキュリティ研修（文京学生）：7月14日～9月30日

○学内安全対策

- ・重要情報機器のICカード対応（医学部附属病院3期目対応）
- ・附属病院における2要素認証の拡充
- ・文部科学省から求められているセキュリティ確認と対応
 - 4月 7日 【注意喚起】脆弱性が確認されたWeb会議サービスの利用について
 - 6月15日 テレワーク等への継続的な取組に際しての留意事項（注意喚起）について
 - 7月20日 SSL/TLS暗号設定ガイドラインの改訂と暗号化方式の検討について
 - 9月 7日 文部科学省及び関係機関を騙るメールについて
 - 9月15日 WordPress 用プラグインFile Manager の脆弱性について
 - 9月28日 NetLogonの特権昇格の脆弱性（CVE-2020-1472）について
 - 10月28日 （注意喚起）最近のレンタルサーバにおける侵害事案について
 - 11月19日 委託先等で発生した関係機関の要機密情報に係るセキュリティインシデントに係る留意事項等について（注意喚起）
 - 11月19日 基幹システムで利用される SSL-VPN装置 や Active Directoryにおいて確認された脆弱性への対応について（注意喚起）
 - 12月24日 Salesforceサイトの設定不備による情報漏えいの可能性について（注意喚起）
 - 1月25日 過去にやり取りしたメールの文面に返信する形でマルウェア添付メールを大量に送信する事案について（返信型emotetへの感染等）
 - 1月29日 sudoの脆弱性（CVE-2021-3156）に関する注意喚起
 - 2月17日 ファイル・データ転送アプライアンスFileZenにおいて確認された脆弱性への対応について（注意喚起）
 - 2月26日 VMware vCenter Serverの脆弱性（CVE-2021-21972）について（注意喚起）
 - 3月 3日 サイバー攻撃に関連する不審な通信先について
- ・NII-SOCS警報 53件
- ・セキュリティ訓練の実施（標的型攻撃メール訓練）2月15日
- ・脆弱性診断 3月1日～3月19日

○教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」(計5回)	学生 遠隔授業(オンデマンド)用のコンテンツ提供	4/26-5/6
共通教育「コンピュータと情報処理」(集中講義)	学生	9/27-9/30
京都大学スパコン利用講習会	学生・教職員	5/14
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/5(文京) 4/7(松岡)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	中止(2回)

○地域支援

項目	備考	開催時期
「ICT活用と情報モラル(初級編)」(2回) 「ICT活用と情報モラル(中級編)」 各6時間 対象:教諭・養護教諭・栄養教諭・講師	教員免許状更新講習	7/18, 8/1 8/23
「Windows10とMS-Office 2016, モラルとセキュリティを基礎・基本から学ぶ講座」 対象:一般市民, 無料	公開講座	中止

○緊急事態時の対応策

- ・新型コロナウイルスの対応
遠隔授業支援, 端末室の消毒等
- ・災害等の緊急事態発生時のサービス継続, 早期復旧対策
大分大学とのBCP協定においてDNSデータを相互にバックアップする体制の運用

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・統一認証の運用、利用促進
現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指した。システムの改修等を行い、データ整合性の維持に努めた。
- ・学内向け情報サービスの運用と展開

項目	概要
Google Workspace の運用と利用の推進	Google Workspace の運用を行った。オンライン授業への対応の他に、様々な業務での活用に関する対応を行った。セキュリティ対策として、全利用者に対して二段階認証の導入を行った。ドライブ等の使用容量の制限に向けて、利用者に適切な利用を呼びかけた。
Microsoft 365 の導入	Microsoft 365 のサービスを開始に向けたシステム整備を行った。
Webex の運用	Web 会議や遠隔授業の利用を目的に、導入した Webex の運用を行った。
学生無線 LAN 申請のオンライン化	学生無線 LAN の申請をオンラインで行えるようにした。「全学生対象情報セキュリティ研修」を必須化し、申請させるようにした。また、助言教員が学生の登録状況をオンラインで確認できるようにした。
ファイルホスティングシステム (ファイルサーバ, メール領域)	教職員、学生のデータ保存用として Z ドライブの提供を行った。ファイルサーバの容量確保、一部のユーザによる使いすぎを防ぐため、クォータの設定を行

	い、適切な運用につとめた。また、メール領域の逼迫に伴い、メールの整理等の依頼を行った。
ホスト登録システムの導入	文京キャンパスにおいてユーザからホスト登録申請ができるホスト登録システムを導入し、運用を始めた（松岡キャンパスでは従来から運用）。
ホスト未登録端末の監視システムの運用	ホスト登録がされていない端末の不正接続を監視するシステム NetSkateKoban の運用を行った。
仮想サーバの運用と利用の推進	仮想サーバの運用を行い、全学からの利用の促進を行った。
eduroam の運用	国際的に相互利用が可能なローミングサービスとして eduroam の運用を行った。
proxy サービス	全学において Web 等の通信に対し proxy サーバを経由する運用を行った。
UPKI のサーバ証明書発行サービスの実施	UPKI によるサーバ証明書発行のサービスを実施した。また、発行に関する支援を行った。
IC Card 初期化端末の導入	職員証と学生証に対応する IC Card 初期化端末を整備した。

・情報システムの更新後の運用

2018年3月に更新した新しい情報システムの運用を行った。統一認証システム、メールシステム、ファイルサーバ、Webサーバ等のシステムの安定運用に努めた。また、離学処理システムが稼働させ、離学したユーザ（教職員、学生など）のシステム利用から削除、無効化などの処理を定期的に行っている。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・サービス案内やお知らせ等のWebページの充実
- ・教育環境設備の維持
利用教員からの要望に応じて、演習室PCのソフトウェアの整備を行った。
演習室端末の学習環境の維持
- ・計算機システム利用支援（京都大学スパコン利用）
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡

◇情報ネットワーク運用部門

- ・障害対応
スイッチ故障（松岡6台、文京0台）
無線LAN障害対応（松岡病院系2回、松岡研究系1回、文京1回）
松岡研究系の無線検証
VPN不調（松岡5回、文京2回）
LOOP対応（松岡4回、文京4回）
- ・構成変更・工事への対応
データセンターとの通信の QinQ 化（調査）
文京学生交流センター設立に伴うネットワーク構築・変更
文京体育館・多目的ホール拠点追加・AP設置
松岡生物資源棟3期工事対応
VLAN設定変更（松岡44件、文京28件）
- ・ネットワーク運用管理支援システムの改良
VLAN変更受付インターフェース作成・設定変更の自動化
端子情報検索
- ・ファイアウォールを含めた全学ネットワーク構成の最適化
未完了。現在も引き続き対応中。現状の運用の洗い出しが完了していない。
- ・監視システム改善
（AD 状態、各種サーバディスク利用状況、IC card端末など）

・次期ネットワーク、システム更新に向けた準備

◇情報セキュリティ管理部門

【学内周知等】

○情報セキュリティ委員会の開催

第27回 令和3年7月29日

第28回（メール審議） 令和3年9月21日～9月28日

第29回（メール審議） 令和4年1月27日～2月3日

○情報セキュリティ関係Webページアップデートおよびメール送信による学内周知

令和3年4月22日【注意喚起】WordPressの脆弱性における修正版ソフトウェアの公開について

令和3年4月22日【注意喚起】Pulse Connect Secureの脆弱性（CVE-2021-22893）について

令和3年5月19日【注意喚起】WordPressの脆弱性における修正版ソフトウェアの公開について

令和3年5月27日【注意喚起】プロジェクト情報共有ツールに対する不正アクセス対策の確認等について

令和3年7月8日【注意喚起】Windowsの印刷スプーラーの脆弱性（CVE-2021-34527）への対応について

令和3年8月3日【注意喚起】フィッシング被害によるアカウント窃取の多発について

○情報セキュリティ関係メール送信による学内周知

令和3年5月7日「政府機関・地方公共団体等における業務でのLINE利用状況調査を踏まえた今後のLINEサービス等の利用の考え方（ガイドライン）」について

令和3年11月25日 u-fukuiを名乗るフィッシングメールについて（注意喚起）

令和4年1月24日 webmailへのリンクに偽装した詐欺メールにご注意ください

令和4年2月10日【注意喚起】実在する氏名・組織名を名乗る不審メールが大学に多数届いています

令和4年3月15日 添付ファイル付きウイルスメールに注意してください。（注意喚起）

令和4年3月23日 Emocheckバージョンアップについて・ウイルスメールおよび詐欺メールへの注意喚起

【情報セキュリティ対策計画】

サイバーセキュリティ対策等基本計画に基づき以下の計画を実施した。

○サイバーセキュリティ教育の強化・啓発

「教職員対象」

e-learning（Google Forms）を用いて以下の期間で研修を実施した。

（新規採用教職員） 実施期間：令和3年6月10日～令和3年11月30日

（全教職員） 実施期間：令和3年12月1日～令和4年2月29日

「学生向け研修」

e-learning（Google Forms・Platon）を用いて以下の期間で研修を実施した。

（授業として実施：Platon使用）

令和3年度大学教育入門セミナー、情報処理基礎にて、文京キャンパス新入生を対象として実施。

実施期間：令和3年4月1日～令和3年6月6日（大学教育入門セミナー）

令和3年4月22日～令和3年8月31日（情報処理基礎）

（授業とせず実施：Google Forms使用）

工学部4年次生に対して実施。実施期間：令和3年9月1日～令和3年12月22日

医学部1年次生に対して実施。実施期間：令和3年9月7日～令和3年12月2日

○サイバーセキュリティ訓練

標的型攻撃メール訓練を以下のとおり実施した。（対象は全教職員・派遣職員）

・教職員 2854名に対して1月20日・2月14日にそれぞれ訓練メールを送信した。

○利用者IDの管理強化

多要素認証を推進のために、ICカードリーダーを400台増設

○セキュリティ対策の再評価

令和3年8月に情報セキュリティ自己点検を実施した。

○サイバー攻撃への対応強化

脆弱性診断を以下のとおり実施した。

- ・プラットフォーム脆弱性診断（二種の診断で延べサーバ9ホスト）
- ・文部科学省ペネトレーションテスト（三種の診断で延べサーバ5ホスト）

□令和4年度 総合情報基盤センター事業報告

○教育広報活動

項目	備考	開催時期
共通教育「大学教育入門セミナー」（計5回）	学生 遠隔授業（オンデマンド）用のコンテンツ提供	4/25-5/6
共通教育「情報処理基礎」（教材提供）	情報モラル、情報セキュリティ関係のオンデマンド教材の提供	前期授業期間
共通教育「コンピュータと情報処理」（集中講義）	学生	9/26-9/29
京都大学スパコン利用講習会（オンライン講習）	学生・教職員	4/15
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/4(文京) 4/7(松岡)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	4/8(文京) 9/28(文京)

○地域支援

実施なし

※「教員免許状更新講習」廃止が決定され、予定されていた講習は、準備をおこなっただけで、実施されなかった。

○緊急事態時の対応策

- ・新型コロナウイルスの対応
遠隔授業支援、端末室の消毒等

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・統一認証の運用、利用促進

現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指した。システムの改修等を行い、データ整合性の維持に努めた。システム更新に伴い新システムへの移行作業を行った。

- ・学内向け情報サービスの運用と展開

項目	概要
Google Workspace の運用と利用の推進	Google Workspace の運用を行った。オンライン授業への対応の他に、様々な業務での活用に関する対応を行った。セキュリティ対策として、全利用者に対して二段階認証の設定の促進を行った。ドライブ等の使用容量の制限に向けて、利用者に適切な利用を呼びかけた。
Microsoft 365 の導入	Microsoft 365 のサービスを開始し、利用希望者に対してサービスの利用開始を行った。
Webex の運用	Web 会議や遠隔授業の利用を目的に、導入した Webex の運用を行った。
学生無線 LAN 申請	オンラインによる学生無線 LAN の申請システムの運用を行った。

ファイルホスティングシステム (ファイルサーバ、メール領域)	教職員、学生のデータ保存用として Z ドライブの提供を行った。ファイルサーバの容量確保、一部のユーザによる使いすぎを防ぐため、クォータの設定を行い、適切な運用につとめた。また、使用量の増加に伴い各ユーザにファイルやメールの整理の依頼を行った。
ホスト登録システムの導入	文京キャンパスにおいてユーザからホスト登録申請ができるホスト登録システムの運用を行った。
ホスト未登録端末の監視システムの運用	ホスト登録がされていない端末の不正接続を監視するシステム NetSkateKoban の運用を行った。
仮想サーバの運用と利用の推進	仮想サーバの運用を行い、全学からの利用の促進を行った。
eduroam の運用	国際的に相互利用が可能なローミングサービスとして eduroam の運用を行った。
proxy サービス	全学において Web 等の通信に対し proxy サーバを経由する運用を行った。
UPKI のサーバ証明書発行サービスの実施	UPKI によるサーバ証明書発行のサービスを実施した。また、発行に関する支援を行った。
統一認証 ID 申請登録システムの整備	ユーザが Web から統一認証 ID を申請登録するシステムを整備し、運用を開始した。

・情報システムの更新後の運用

2018年3月に更新した新しい情報システムの運用を行った。統一認証システム、メールシステム、ファイルサーバ、Webサーバ等のシステムの安定運用に努めた。また、離学処理システムが稼働させ、離学したユーザ（教職員、学生など）のシステム利用から削除、無効化などの処理を定期的に行っている。

・情報システムの更新に向けた準備と実施

2023年3月のシステム更新に向けた準備を行った。新システムへの移行作業のシステム停止等のアナウンスや新システムに対応した教材等の作成を行った。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・サービス案内やお知らせ等のWebページの充実
- ・教育環境設備の維持
利用教員からの要望に応じて、演習室PCのソフトウェアの整備を行った。
演習室端末の学習環境の維持
- ・計算機システム利用支援（京都大学スパコン利用）
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡

◇情報ネットワーク運用部門

情報システムおよび学内ネットワーク(附属病院、二の宮キャンパス無線を除く)更新

- ・仕様書の原案作成、取りまとめ
- ・導入

全学ネットワーク構成の最適化

- ・ファイアウォールを含めた運用の一体化を完了
- ・FISH 回線カプセル化機材の更
- ・工学部計算機システム入れ替えに伴うネットワーク変更
- ・調達に合わせた変更
 - 1) ファイアウォール配置構成
 - 2) 拠点スイッチの統合（工学系 4号館、工学系実験棟、学生支援センター、医学図書館）
- ・工事によるもの

- 1) 附属義務教育学校後期課程関連
 - 2) 工学系2号館改修
 - 3) 附属病院 HCU
 - ・利用形態変更による VLAN 変更 (189, うち手動による対応が必要だったもの 13)
- 障害対応
- 機器故障による交換 (附属病院 3)
 - (uf-aj3-mae1-2, uf-aj3-mae5-1, uf-aj3-maw3-2)
 - キャンパス間 (敦賀 3)
 - 仮想基盤停止 (松岡 1 調査機器の設定誤り)
 - 学生無線 LAN サービス (松岡 1 経路設定誤り)
 - loop 対応 (幹線 2, 末端 10)

◇情報セキュリティ管理部門

【学内周知等】

- 情報セキュリティ委員会の開催
 - 第30回 令和4年5月31日
 - 第31回 (メール審議) 令和4年8月26日～9月7日
- 情報セキュリティ関係メール送信による学内周知
 - 令和4年6月24日 (重要) u-fukuiを騙る詐欺メールに注意してください (注意喚起)
 - 令和4年11月4日 (注意喚起) ウイルスメールに注意ください。
 - 令和4年12月6日 迷惑メール対策概要説明について
 - 令和4年12月16日 統一認証ID・パスワードの管理について (注意喚起)

【情報セキュリティ対策】

- 次期 (令和4年10月1日～令和7年3月31日) 計画として、サイバーセキュリティ対策等基本計画を令和4年9月7日に改定した。また、改定前の同計画に基づき以下の対策を実施した。
- サイバーセキュリティ教育の強化・啓発
 - 「教職員対象」
 - e-learning (Google Forms) を用いて以下の期間で研修を実施した。
 - (新規採用教職員) 実施期間: 令和4年6月以降各月
 - (全教職員) 実施期間: 令和4年12月15日～令和5年2月27日
 - 「学生向け研修」
 - e-learning (Google Forms) を用いて以下の期間で研修を実施した。
 - 工学部4年次生に対して実施。実施期間: 令和4年4月26日～令和4年6月30日
 - 全学部1年次生・編入生に対して実施。実施期間: 令和4年4月18日～令和4年6月1日
- サイバーセキュリティ訓練
 - 標的型攻撃メール訓練を以下のとおり実施した。
 - ・教職員対象 (2回): 8月3日～8月5日 2982人 8月31日～9月2日 2989人
 - ・学生対象 (2回): 11月7日～11月10日 4666人 11月21日～11月24日 4728人
- 利用者IDの管理強化
 - 多要素認証を推進のために、ICカードリーダを50台増設した。
- セキュリティ対策の再評価
 - 令和4年6月～9月に情報セキュリティ自己点検を実施した。
- サイバー攻撃への対応強化
 - 脆弱性診断を以下のとおり実施した。
 - ・プラットフォーム脆弱性診断 (1システムに対してホワイトボックス診断を実施)

□令和5年度 総合情報基盤センター事業報告

○教育広報活動

項目	備考	開催時期
----	----	------

共通教育「情報処理基礎」(教材提供)	情報モラル, 情報セキュリティ関係のオンデマンド教材の提供	前期授業期間
共通教育「コンピュータと情報処理」(集中講義)	学生	9/25-9/29
京都大学スパコン利用講習会 (オンライン講習)	学生 オンデマンド教材による実施	令和5年度はシステム移行期であったため, 移行後の実施
新入生オリエンテーション	ガイダンス	4/4(文京) 4/7(松岡)
留学生向けガイダンス	ガイダンス	3/29(文京) 9/28(文京)
新入生向けサポート相談会 (教務課主催)	希望学生に対して説明会を開催	4/6(文京) 4/11(文京)

○地域支援

令和5年度の実施計画はなし

○緊急事態時の対応策

- ・新型コロナウイルスの対応
- 一部の授業に対して遠隔授業支援等

◇情報サービス推進部門

○重点項目

- ・統一認証の運用、利用促進

現在、複数の業務系システムで利用されており、安定運用を目指した。システムの改修等を行い、データ整合性の維持に努めた。システム更新後の安定運用に向けた作業を行った。

- ・学内向け情報サービスの運用と展開

項目	概要
Google Workspace の運用と利用の推進	Google Workspace の運用を行った。オンライン授業への対応の他に、様々な業務での活用に関する対応を行った。セキュリティ対策として、全利用者に対して二段階認証の設定の促進を行った。ドライブ等の使用容量の制限に向けて、利用者に適切な利用を呼びかけた。
Microsoft 365 の導入	利用希望者に対し Microsoft 365 のサービスの提供を行った。
Webex の運用	Web 会議や遠隔授業の利用する Webex の運用を行った。
学生無線 LAN 申請	オンラインによる学生無線 LAN の申請システムの運用を行った。不適切な申請をした学生に対し、指導を行った。
ファイルホスティングシステム (ファイルサーバ, メール領域)	教職員、学生のデータ保存用として Z ドライブの提供を行った。ファイルサーバの容量確保、一部のユーザによる使いすぎを防ぐため、クォータの設定を行い、適切な運用につとめた。また、使用量の増加に伴い各ユーザにファイルやメールの整理の依頼を行った。
ホスト登録システムの導入	ユーザからホスト登録申請ができるホスト登録システムの運用を行った。
ホスト未登録端末の監視システムの運用	ホスト登録がされていない端末の不正接続を監視するシステム NetSkateKoban の運用を行った。

仮想サーバの運用と利用の推進	仮想サーバの運用を行い、全学への利用促進を行った。
eduroam の運用	国際的に相互利用が可能なローミングサービスとして eduroam の運用を行った。
proxy サービス	全学において Web 等の通信に対し proxy サーバを経由する運用を行った。
UPKI のサーバ証明書発行サービスの実施	UPKI によるサーバ証明書発行のサービスを実施した。また、発行に関する支援を行った。
統一認証 ID 申請登録システムの整備	ユーザが Web から統一認証 ID を申請登録するシステムの運用を行った。
One Time Password(OTP)認証の導入と運用	学外等から学内システムを用いる際のセキュリティ強化を目的に、OTP 認証システムを導入した。学内での周知期間を考慮し、段階的に運用をすすめた。11 月には完全な運用を行った。

・情報システムの更新後の運用

2023年3月に更新した新しい情報システムの運用を行った。統一認証システム、メールシステム、ファイルサーバ、Webサーバ等のシステムの安定運用に努めた。また、離学処理システムが稼働させ、離学したユーザ（教職員、学生など）のシステム利用から削除、無効化などの処理を定期的に行っている。

○定常業務

- ・各種問い合わせに対する対応
- ・サービス案内やお知らせ等のWebページの充実
- ・教育環境設備の維持
利用教員からの要望に応じて、演習室PCのソフトウェアの整備を行った。
演習室端末の学習環境の維持
- ・計算機システム利用支援（京都大学スパコン利用）
- ・障害発生時の受付窓口、部局間連絡

◇情報ネットワーク運用部門

ネットワーク更新の残作業

- ・文京、松岡キャンパスのコアスイッチの更新
- ・無線電波強度の調査

松岡講義棟と実習棟の無線増強

- ・Aruba AP-535 を講義棟に 8 台、実習棟に 2 台設置（医学部負担）

メールアドレス認証への対応

- ・DKIM/DMARC/SPF/ARC に対応

障害対応

- ・機器故障による交換
uf-aih-min6-1
uf-aih-min6-2
uf-ail-min8-1（電源モジュールを交換）
uf-aj3-mae4-2
uf-aj3-mbs1-2
uf-aj3-md11-1
uf-fn5-qq01-2
uf-fn5-mtn1-2
uf-hpp-qx02-1

- ・loop 対応（文京 5 件、松岡 2 件）

利用形態変更による設定変更

- ・VLAN 変更（244 件、うち手動変更 11 件）
- ・二の宮で Ufmember を利用可能に

- ・学会用 SSID の設定(10 件)

◇情報セキュリティ管理部門

【学内周知等】

○情報セキュリティ委員会の開催

第32回 令和5年6月28日

第33回 令和5年9月13日～令和5年9月15日(メール審議)

○情報セキュリティ関係メール送信による学内周知

令和5年4月7日【CII】【重要】グローバルIPアドレスサーバ・端末の状況確認について(依頼)

令和5年8月17日(注意喚起)過去に開催した学会等Webサイトへの外部リンクについて。

令和5年8月19日 情報システムに関する情報セキュリティインシデント対応マニュアルについて。

令和5年8月24日【CII】(重要)u-fukuiを騙るフィッシングメールに注意してください。

令和5年9月20日【CII】(重要)スパムメールフィルタシステムのパスワードについて

【情報セキュリティ対策】

サイバーセキュリティ対策等基本計画にもとづき以下の対策を実施した。

○リスクの特定と評価・リスク対策(守るべき情報の保護・情報機器の脆弱性対応)

令和5年7月～9月に情報セキュリティ自己点検をリスクに関する点検項目を追加して実施した。

○リスク対策(構成員へのセキュリティ意識の徹底)

「教職員対象」

e-learning:Google Forms を用いて以下の期間で研修を実施した。

(全教職員)実施期間:令和6年1月9日～令和6年3月20日

※eOffice 研修管理を使用。

(新規採用教職員)実施期間:前月2日から当月1日の採用者・異動者を対象に各月実施

研修会:対面・ライブストーリーミング・後日ビデオ配信にて令和5年9月29日に実施した。

「学生向け研修」

e-learning:Google Forms を用いて以下の期間で研修を実施した。

全学部1年次生・編入生に対して実施。実施期間:令和5年6月7日～令和5年7月7日

※上記は受講必須として通知。併せて学生用無線 LAN 申請の要件として、全学生に対して通年で実施

研修会:ライブストーリーミング・後日ビデオ配信にて令和5年7月14日に実施した。

「標的型攻撃メール訓練」

標的型攻撃メール訓練を全教職員・学生に対して以下のとおり実施した。

第1回:令和5年10月25日送信

第2回:令和6年1月24日送信

○インシデント対応体制の構築

インシデント対応マニュアルをeOffice資料集に掲載し全学通知した。

○セキュリティ運用の実施

・不正通信監視システムのライセンスを継続し事務局の通信を引き続き監視している。

・クラウド型WAF(Web Application Firewall)を契約し、令和6年2月1日から仮想サーバにて運用されている1サイトの防御を開始した。

○監査等での運用チェック

・情報セキュリティ監査責任者による情報セキュリティ監査を受けた。

・プラットフォーム脆弱性診断(ホワイトボックス診断)を2システム(計6ホスト)に実施した。